

令和4年度

学校推薦型選抜 学生募集要項

▶ 学校推薦型選抜Ⅰ型（大学入学共通テストを課さない）

法 学 部
経済科学部
理 学 部（数学，物理学プログラム）
医 学 部（保健学科）
工 学 部
農 学 部

▶ 学校推薦型選抜Ⅱ型（大学入学共通テストを課す）

人文学部
教育学部
理 学 部（化学，生物学，地質科学，自然環境科学プログラム）
歯 学 部
工 学 部

令和4年度 新潟大学学校推薦型選抜実施日程

▶ 学校推薦型選抜 I 型（大学入学共通テストを課さない）

学部等	出願期間	受験票 ダウンロード通知	試験日	合格発表	入学手続期間
法学部	令和3年 11月1日(月) ～ 11月4日(木) (必着)	令和3年 11月8日(月)	令和3年 11月13日(土) 11月14日(日) (いずれかの1日)	令和3年 12月22日(水)	令和4年 2月20日(日) ～ 2月21日(月)
経済科学部	郵送のみ	令和3年 11月11日(木)	11月20日(土)	12月16日(木)	
理学部 (数学, 物理学プログラム)	◎出願登録は, 令和3年10月25 日(月)9:00か ら可能です。		11月20日(土) ※11月21日(日)	12月3日(金)	
医学部 (保健学科)			11月26日(金)	12月16日(木)	
工学部 (学校推薦型選抜I型)			11月20日(土) 11月21日(日) (いずれかの1日)	12月10日(金)	
農学部			11月20日(土)	12月3日(金)	

※志願者多数の場合は、面接期日が11月21日(日)になることがあります。

▶ 学校推薦型選抜Ⅱ型（大学入学共通テストを課す）

学部等	出願期間	受験票 ダウンロード通知	試験日	合格発表	入学手続期間
人文学部	令和3年 11月1日(月)	令和3年 11月11日(木)	令和3年 12月11日(土)	令和4年 2月11日(金)	令和4年 2月20日(日)
教育学部	～ 11月4日(木) (必着)		11月20日(土)		
理学部 (化学, 生物学, 地 質科学, 自然環境 科学プログラム)	郵送のみ ◎出願登録は, 令和3年10月25 日(月)9:00か ら可能です。		11月20日(土) ※11月21日(日) (地質科学, 自然環 境科学プログラム) (化学, 生物学プログ ラムは書類審査のた め, 来学する必要はあ りません。)		
歯学部			11月27日(土)		
工学部 (学校推薦型選抜Ⅱ型)			11月20日(土) 11月21日(日) (いずれかの1日)		

※志願者多数の場合は、面接期日が11月21日(日)になることがあります。

新潟大学入学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、新潟大学ホームページ「受験生特設サイト」をご覧ください。

受験生特設サイト <https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>



出席停止が定められている感染症に罹患した場合の対応について

学校保健安全法施行規則において出席停止が定められている感染症に罹患した場合は、感染の拡大防止のため、学校保健安全法に準じた取り扱いとし、入学試験当日まで治癒していない場合又は出席停止期間を経過していない場合は、受験することはできません。（病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。）

また上記により、受験できなかった場合の追試験等の措置は行いませんのでご留意願います。

試験当日までは、なるべく人混みへの外出を避け、マスクの着用、手洗い・うがいの励行等、予防と体調管理に努めてください。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う本学の入学試験における対応について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等により、本募集要項の内容に変更が生じた場合は、以下のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特にご注意願います。

受験生特設サイト <https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>



新型コロナウイルス感染症対策の影響により、中止・延期等 となった大会や資格・検定試験等への対応について

新型コロナウイルス感染症の影響により、各種のスポーツ・文化活動の行事、大会や資格検定試験等が中止・延期等となり、調査書等に記載できない場合でも不利益を被ることがないように配慮します。

推薦書及び志願理由書等にこれらの活動について記載する場合、成果獲得に向けた努力のプロセスを記載することを認め、教育学部，工学部，農学部においては，上記に該当する場合は，以下のように対応を求めています。（他の学部については，必ずしも記載を求めるものではありません。）

学部等名	対 応 内 容
教育学部	推薦書及び志願者本人が記載する書類等において，志願者の成果獲得に向けた努力のプロセス等について記載してください。
工学部	
農学部	

目 次

1	アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）等	1
2	募集人員，出願及び推薦の要件，選抜方法及び試験期日等	
	▶ 学校推薦型選抜Ⅰ型（大学入学共通テストを課さない）	
	・法学部	2
	・経済科学部	3
	・理学部（数学，物理学プログラム）	4
	・医学部（保健学科）	6
	・工学部	8
	・農学部	13
	▶ 学校推薦型選抜Ⅱ型（大学入学共通テストを課す）	
	・人文学部	15
	・教育学部	17
	・理学部（化学，生物学，地質科学，自然環境科学プログラム）	20
	・歯学部	23
	・工学部	26
3	出願手続	29
4	「受験票」及び「受験案内」について	36
5	受験上の注意事項	40
6	新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する注意事項	41
7	障がい等を有する入学志願者の事前相談	41
8	合格者の発表	42
9	入学手続等	42
10	学生寮への入寮について	43
11	入学者選抜に用いた個人情報の取扱い	44
12	受験者本人の試験成績の開示	44
13	最近における学校推薦型選抜実施状況	45
14	出願に必要な所定様式等	50

1 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）等

【求める学生像】

新潟大学は、自律と創生を全学の理念とし、教育と研究及び社会貢献を通じて、世界の平和と発展に寄与することを目的としています。

この理念の実現と目的の達成のために、学位授与の方針に掲げるとおり、教育の基本的目標を、新潟大学の総合力を活かした学位プログラムを通じて、高い見識と良識をもって社会や時代の課題に的確に対応して、課題解決のために活躍できる人材を育成することに置いています。

以上の教育の基本的目標を実現するために、次に掲げるような資質豊かな学生を広く求めます。

- ・ 修学に適う、確固たる学力を身に付け、新しい課題に意欲的に取り組もうとする人
- ・ 人間性を大事にし、広い視野からものごとを考えようとする人
- ・ 地域社会や世界の様々な場面で役に立ちたいと思っている人

上記の求める学生像に加え、学士課程においては、高等学校教育までの全般にわたる基礎学力を有し、当該学部の教育目標・教育内容を理解し、そこで必要とされる基礎的能力と勉学への強い意欲を有する人を求め選抜します。

【入学者選抜の基本方針】

各学部、プログラム等で定める基本方針に従った選抜を行います。

なお、障がい者等の受け入れ方針については、障がいのある入学志願者に対し、障害者基本法や障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の趣旨に十分留意するものとします。

【入学までに身に付けてほしいこと】

広く社会に目を向け、興味を持ったことや問題と感じたことなどについて、まとまった知識や情報を集めて自分の考えを形成し、論理的な文章にまとめる力を高めるとともに、他者とのコミュニケーションを大切に、自分とは異なるものの見方・考え方に触れ、広い視野を持てるようにしてください。

【各学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）等】

人文学部，教育学部，法学部，経済科学部，理学部，医学部保健学科，歯学部歯学科，歯学部口腔生命福祉学科，工学部及び農学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）等は、本学ホームページの「受験生特設サイト」→「アドミッション・ポリシー」を参照してください。

受験生特設サイト <https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>



2 募集人員、出願及び推薦の要件、選抜方法及び試験期日等

▶ 学校推薦型選抜 I 型（大学入学共通テストを課さない）

法 学 部

(1) 募集人員

学 科	募集人員
法学科	50人

欠員が生じた場合は、その欠員分を一般選抜における前期日程の募集人員に加えます。

(2) 出願及び推薦の要件

高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和4年3月までに卒業見込みの者（（注）の者を含む。）で次の各号に該当し、当該学校長が責任をもって推薦するものとします。

- ① 「新潟大学法学部の学校推薦型選抜を受験しようとする<皆さん>へ」（本要項に添付の出願書類「自己申告書」の次に掲載）及び新潟大学法学部アドミッション・ポリシーにおける「人材育成の目標」や「求める学生像」をよく理解し、将来、国際社会及び地域社会に貢献したいという意欲を持つ者であって、潜在的・顕在的に、現代社会の諸問題を公正かつ論理的に解決できる能力を有し、国際化・情報化に対応するコミュニケーション能力及び総合的な視野に立った政策提案能力を有していると認められるもの
- ② 学習成績概評がB以上で、本学部での勉学に熱意を持つ者
- ③ 合格した場合は、入学することを確約できる者

（注）

- ・特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者
- ・高等専門学校第3年次を修了した者及び修了見込みの者
- ・文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者

(3) 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、面接の結果及び出願書類を総合して行います。

配点は、次のとおりです。

※ 面接には、自己申告書を中心とした出願書類等の内容を踏まえた基礎知識や思考力などの評価を含みます。

面接(書類審査含む)	合 計
100	100

(4) 試験期日及び試験場等

試 験 期 日	試験科目	面接日時及び集合時刻	試 験 場
令和3年11月13日(土) 11月14日(日) (いずれかの1日)	面 接	受験案内(36~39ページ参照)で通知します。	新潟大学 人文社会科学系棟

※ 受験案内には、面接試験グループ分けをお知らせするサイトのアドレスを記載します。面接試験グループにより、面接日時が異なりますので、同サイトで確認してください。

経済科学部

(1) 募集人員

学 科	学校推薦型選抜の対象となる者	募集人員
総合経済学科	(範囲の指定なし)	45人
	商業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。） した者（学科の指定なし）	15人

欠員が生じた場合は、その欠員分を一般選抜における前期日程の募集人員に加えます。

(2) 出願及び推薦の要件

令和4年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（(注)の者を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が責任をもって推薦するものとします。

- ① 学業・人物ともに優れ、経済学・経営学に加え、人文社会科学分野の勉学に意欲のある者
- ② 学習成績概評がAの者
- ③ 合格した場合は、入学することを確約できる者

(注) {

- ・令和3年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- ・令和3年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者
- ・令和3年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者
- ・文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了した者及び修了見込みの者

(3) 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、総合問題及び出願書類の審査を総合して行います。

配点は、次のとおりです。

総合問題	書類審査	合 計
200	50	250

※ 総合問題は、高等学校の学習一般を前提とし、特に経済・社会に関する諸問題について、論理的な思考能力および日本語の理解力・表現力をみます。

(4) 試験期日及び試験場等

試 験 期 日	試験科目	時 間	試 験 場
令和3年11月20日(土)	総合問題	9 : 00～10 : 30 (90分)	新潟大学 人文社会科学系棟

理 学 部 (学校推薦型選抜Ⅰ型)

(1) 募集人員

学 科	主専攻プログラム	募集人員
理 学 科	数学プログラム	7人
	物理学プログラム	7人

主専攻プログラムごとに募集します。募集人員は概ねの人数です。なお、化学、生物学、地質科学、自然環境科学プログラムは、学校推薦型選抜Ⅱ型により募集します。学校推薦型選抜ではフィールド科学人材育成プログラムの募集は行いません。また、欠員が生じた場合は、その欠員分を一般選抜における前期日程の募集人員に加えます。

(2) 出願及び推薦の要件

令和4年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（(注)の者を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するものとします。

- ① 学業・人物ともに優れ、理学部が示した「求める学生像」に適合する者
- ② 合格した場合は、入学することを確約できる者

(注) {

- ・令和3年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- ・令和3年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者
- ・令和3年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者
- ・文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了した者及び修了見込みの者

(3) 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、以下の検査及び出願書類により行います。入学者選抜の判定は、当該検査の結果及び出願書類を総合して行います。

主専攻プログラム	検査
数学プログラム、物理学プログラム	基礎学力試験、面接

① 基礎学力試験の出題範囲

主専攻プログラム	基礎学力試験の出題範囲
数学プログラム	<p>「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」及び「数学A」……すべての内容 「数学B」……………「数列」及び「ベクトル」 「数学Ⅲ」……………「極限」及び「微分法」 ※上記内容は「文部科学省高等学校学習指導要領」による。 出題内容は、高等学校教科書の章末問題と同じ水準の問題とします。</p>

物理学プログラム	「物理基礎」……………すべての内容 「物理」……………「力と運動」、「気体分子の運動」、 「波」及び「電気と磁気」 ※上記内容は「文部科学省高等学校学習指導要領」による。 出題内容は、高等学校教科書の章末問題と同じ水準の問題とします。
----------	---

② 配点

主専攻プログラム	基礎学力試験	面接	書類審査	合計
数学プログラム	300	100	100	500
物理学プログラム	300	100	100	500

(4) 試験期日及び試験場等

主専攻プログラム	試験科目		試験場
	基礎学力試験	面接	
数学プログラム	令和3年 11月20日(土) 10:00~12:00(120分)	令和3年 11月20日(土) 13:30~ ※11月21日(日) 10:00~	新潟大学 理学部棟
物理学プログラム			

※ 面接日時については、受験案内(36~39ページ参照)で通知します。
志願者多数の場合は、面接期日が11月21日(日)になることがあります。

医 学 部 (保 健 学 科)

(1) 募集人員

学 科	専 攻	募集人員
保健学科	看護学専攻	28人
	放射線技術科学専攻	12人
	検査技術科学専攻	12人

欠員が生じた場合は、その欠員分を保健学科の一般選抜における前期日程の募集人員に加えます。

(2) 出願及び推薦の要件

令和4年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（（注1）の者を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が責任をもって推薦するものとします。

① 各専攻において次の学習に熱意のある者

看護学専攻……………看護学の学習に熱意のある者

放射線技術科学専攻……放射線技術科学の学習に熱意のある者

検査技術科学専攻……………検査技術科学の学習に熱意のある者

② 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者

③ 合格した場合は、入学することを確約できる者

- （注1）
- ・ 令和3年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者
 - ・ 令和3年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者
 - ・ 令和3年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者
 - ・ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了した者及び修了見込みの者

（注2）当該学校長が推薦できる人員

- ・ 普通科（理数科等を含む。）においては、看護学専攻は、1校につき2人以内、放射線技術科学専攻及び検査技術科学専攻についてはそれぞれ1校につき1人とします。
- ・ 職業教育を主とする学科及び総合学科においては、各専攻とも1校につき2人以内とします。ただし、看護学専攻においては、准看護師の受験資格を得ることができる学科の場合は、さらに当該学科から1人推薦できるものとします。

(3) 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、小論文、面接及び出願書類を総合して行います。

配点は次のとおりです。

専 攻	小論文	面 接	合 計
看護学専攻	100	100	200
放射線技術科学専攻	60	90	150
検査技術科学専攻	100	100	200

(4) 試験期日及び試験場等

試験期日	試験科目	時 間	試 験 場	備 考
令和3年 11月26日(金)	小論文	9:30～ 11:00 (90分)	新潟大学 医学部保健学科棟	受験の際、1冊に限り、英和辞典の持込みを許可します(電子辞書は不可)。
	面接	12:00～		放射線技術科学専攻のみ、数学(※)の基礎学力に関する口頭試問を含みます。

※ 数学の出題範囲は、数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学Bとします。なお、数学Bの出題範囲は、「数列」及び「ベクトル」とします。

工 学 部 （学校推薦型選抜Ⅰ型）

(1) 募集人員

学 科	主専攻プログラム	募集人員	学校推薦型選抜の対象となる者
工学科	機械システム工学プログラム	7人	出願要件①から出願要件⑤のいずれかに該当する者
	社会基盤工学プログラム	4人	
	電子情報通信プログラム	7人	
	知能情報システムプログラム	7人	
	化学システム工学プログラム	7人	
	材料科学プログラム	4人	
	建築学プログラム	3人	
	人間支援感性科学プログラム	14人	
	協創経営プログラム	2人	
	合 計	55人	

主専攻プログラムごとに募集します。各プログラムの募集人員は概ねの人数です。なお、大学入学共通テストを課す「学校推薦型選抜Ⅱ型」との併願はできません。また、欠員が生じた場合は、その欠員分を一般選抜における前期日程の募集人員に加えます。

(2) 推薦及び出願の要件

・推薦の要件

令和4年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（（注）の者を含む。）及び令和2年度中に高等学校又は特別支援学校の高等部を卒業した者で、次の各号に該当し、当該学校長が責任をもって推薦するものとします。

- ① 人物・学業成績がともに優れ、工学の学習に熱意のある者
- ② 合格した場合は、入学することを確約できる者

（注）

- ・令和3年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- ・令和3年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者
- ・令和3年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者
- ・文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了した者及び修了見込みの者

・出願の要件

次表に示す出願要件①から出願要件⑤のいずれかに該当する者。

出願要件②、出願要件③、出願要件④及び出願要件⑤においては、当該出願要件に該当していることを証明する客観的資料を添付すること。

出願要件	主専攻プログラム	学校推薦型選抜の対象となる者
出願要件①	機械システム工学プログラム	工業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	社会基盤工学プログラム	工業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	電子情報通信プログラム	工業及び情報に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	知能情報システムプログラム	工業、情報及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	化学システム工学プログラム	工業、農業及び水産に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	材料科学プログラム	工業、農業及び水産に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	建築学プログラム	工業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	人間支援感性科学プログラム	工業、情報及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	協創経営プログラム	工業、情報及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
出願要件②	全ての主専攻プログラム	SSHカリキュラムを受講した者で、下記のいずれかもしくは両方を満たしたもの <ul style="list-style-type: none"> ・SSHの指定を受けている高等学校又は中等教育学校において研究又は実験を行ったことのある者 ・大学、官公庁及び企業等の研究機関において研究又は実験を行ったことのある者
出願要件③	全ての主専攻プログラム	科学系コンテストなどで入賞し、その成果が高く評価されている者(科学系コンテストの内容は10ページの別表を参照)
出願要件④	人間支援感性科学プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた造形芸術の能力をもつ者 ・優れた音楽の演奏能力又は作曲能力をもつ者 ・優れたスポーツの技能を有する者
出願要件⑤	全ての主専攻プログラム	高等学校等の内外において主体的に活動(課題研究、総合学習、課外活動、コンテスト、コンクール等)を行った者

別表 出願要件③の科学系コンテストの内容について

主専攻プログラム	科学系コンテスト名と認定基準 (過去3年間に以下の基準を満たした者)
機械システム工学プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
社会基盤工学プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
	化学グランプリ一次選考通過者
	日本情報オリンピック予選通過者
	日本生物学オリンピック予選通過者
	日本地学オリンピック予選通過者
	科学地理オリンピック日本選手権一次選抜通過者
電子情報通信プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
	日本情報オリンピック予選通過者
知能情報システムプログラム	日本情報オリンピック本選Aランク通過者
化学システム工学プログラム	化学グランプリ二次選考入賞者
材料科学プログラム	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
	化学グランプリ一次選考通過者
建築学プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
	化学グランプリ一次選考通過者
	日本情報オリンピック予選通過者
人間支援感性科学プログラム	日本情報オリンピック予選通過者
協創経営プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
	化学グランプリ一次選考通過者
	日本情報オリンピック予選通過者
	日本生物学オリンピック予選通過者
	日本地学オリンピック予選通過者
	科学地理オリンピック日本選手権一次選抜通過者

(3) 選抜方法等

① 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、口頭試問を含む面接(出願要件④で出願した者は、作品等も含む。)での評価及び調査書等の内容を総合して行います。なお、調査書については点数化し、推薦書及び活動報告書等の出願書類については、面接における参考資料として活用します。

② 配点

主専攻プログラム	面接	書類審査	合計
全ての主専攻プログラム	140	60	200

③ 口頭試問の内容

・ 出願要件①による志願者に係る口頭試問の内容

主専攻プログラム	口頭試問の内容 (基礎的な学力を試問する教科・科目)
機械システム工学プログラム	数学(※1), 工業(設計製図)
社会基盤工学プログラム	工業(土木)
電子情報通信プログラム	工業(電気基礎)
知能情報システムプログラム	数学(※1), 英語
化学システム工学プログラム	化学, 英語
材料科学プログラム	数学(※1), 英語
建築学プログラム	工業(建築)
人間支援感性科学プログラム	数学(※1), 英語
協創経営プログラム	数学(※2), 英語

数学の出題範囲は、以下のとおりです。

※1 機械システム工学プログラム、知能情報システムプログラム、材料科学プログラム、人間支援感性科学プログラムにおいては、数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学Bとします。
なお、数学Bの出題範囲は、「数列」及び「ベクトル」とします。

※2 協創経営プログラムにおいては、数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱとします。

口頭試問の過去問題を、新潟大学工学部ホームページ(<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/admission/>)で公開しています。

・出願要件②，出願要件③，出願要件④又は出願要件⑤による志願者に係る口頭試問の内容

主専攻プログラム	口頭試問の内容
機械システム工学プログラム	数学(※1)に関する基礎的な学力を問う試問と，該当する出願要件に関する試問
社会基盤工学プログラム	該当する出願要件に関する試問
電子情報通信プログラム	該当する出願要件に関する試問
知能情報システムプログラム	数学(※2)，英語に関する基礎的な学力を問う試問と，該当する出願要件に関する試問
化学システム工学プログラム	化学，英語に関する基礎的な学力を問う試問と，該当する出願要件に関する試問
材料科学プログラム	数学(※1)，英語に関する基礎的な学力を問う試問と，該当する出願要件に関する試問
建築学プログラム	該当する出願要件に関する試問
人間支援感性科学プログラム	該当する出願要件に関する試問
協創経営プログラム	数学(※3)，英語に関する基礎的な学力を問う試問と，該当する出願要件に関する試問

数学の出題範囲は，以下のとおりです。

- ※1 機械システム工学プログラム，材料科学プログラムにおいては，数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱ・数学Bとします。なお，数学Bの出題範囲は，「数列」及び「ベクトル」とします。
- ※2 知能情報システムプログラムにおいては，数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱ・数学B，数学Ⅲとします。なお，数学Bの出題範囲は，「数列」及び「ベクトル」とします。
- ※3 協創経営プログラムにおいては，数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱとします。

口頭試問の過去問題を，新潟大学工学部ホームページ(<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/admission/>)で公開しています。

(4) 試験期日及び試験場等

試験期日	試験科目	面接日時及び集合時刻	試験場
令和3年11月20日(土) 11月21日(日) (いずれかの1日)	面接	受験案内(36～39ページ参照)で通知します。	新潟大学工学部棟

農 学 部

(1) 募集人員

学 科	主専攻プログラム	学校推薦型選抜の対象となる高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)の範囲	募集人員
農学科	応用生命科学 プログラム	高等学校の普通科等(下記以外の学科)	5人
		農業, 工業, 水産及び家庭に関する学科並びに総合学科(注1, 2)	2人
	食品科学 プログラム	高等学校の普通科等(下記以外の学科)	4人
		農業, 水産及び家庭に関する学科並びに総合学科(注1, 3)	2人
	生物資源科学 プログラム	高等学校の普通科等(下記以外の学科)	6人
		農業に関する学科及び総合学科(注4)	5人
	流域環境学 プログラム	高等学校の普通科等(下記以外の学科)	6人
		農業及び工業に関する学科並びに総合学科(注5)	4人

主専攻プログラムごとに募集します。なお、学校推薦型選抜では、「フィールド科学人材育成プログラム」の募集は行いません。また、欠員が生じた場合は、その欠員分を一般選抜における前期日程の募集人員に加えます。

(注1) 家庭に関する学科は、食物に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者を対象とします。

(注2) 総合学科は、農業, 工業, 水産又は食物に関する教科・科目をいずれか20単位以上修得(見込みを含む。)した者を対象とします。

(注3) 総合学科は、農業, 水産又は食物に関する教科・科目をいずれか20単位以上修得(見込みを含む。)した者を対象とします。

(注4) 総合学科は、農業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者を対象とします。

(注5) 総合学科は、農業及び工業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者を対象とします。

(2) 出願及び推薦の要件

令和4年3月高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)卒業見込みの者((注)の者を含む。)及び農業に関する学科, 工業に関する学科, 水産に関する学科, 家庭に関する学科及び総合学科のいずれかを令和元年度以降に卒業した者で, 次の各号に該当し, 当該学校長が特に優れていると認め, 責任をもって推薦するものとします。

なお, 学校長が各プログラムに推薦できる人数に制限はありません。

① 学業・人物ともに優れ, 農学の学習に意欲のある者

② 合格した場合は, 入学することを確約できる者

(注) {

- ・令和3年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- ・令和3年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者
- ・令和3年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者
- ・文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了した者及び修了見込みの者

(3) 選抜方法

大学入学共通テストを免除し，小論文，面接及び出願書類を総合して行います。
配点は，次のとおりです。

学 科	主専攻プログラム	小論文	面 接	書類審査	合 計
農学科	全ての主専攻プログラム	50	30	20	100

(4) 試験期日及び試験場

試 験 期 日	試験科目	時 間	試 験 場
令和3年11月20日(土)	小 論 文	10 : 00～12 : 00 (120分)	新潟大学農学部棟
	面 接	13 : 00～	

▶ 学校推薦型選抜Ⅱ型（大学入学共通テストを課す）

人 文 学 部

(1) 募集人員

学 科	募集人員
人文学科	30人

欠員が生じた場合は、その欠員分を一般選抜における前期日程の募集人員に加えます。

(2) 出願及び推薦の要件

高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和4年3月までに卒業見込みの者（(注)の者を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任を持って推薦するものとします。

- ① 人物・学業ともに優れ、本学部での学習に意欲のある者
- ② 合格した場合は、入学することを確約できる者

(注) } ・特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者
・高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者
・文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者

(3) 選抜方法

令和4年度大学入学共通テストの成績、小論文、面接の結果及び出願書類を総合して行います。
[大学入学共通テストで受験を要する教科・科目（3教科3科目）]

受験を要する教科・科目	
国 語（国語 必須） 外国語（英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1）	
数 学（数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計， 情報関係基礎から1） 地理歴史・公民（世界史B，日本史B，地理B，現代社会，倫理，政治・経済， 「倫理，政治・経済」から1）	}
	から1
<p>(注1) 大学入学共通テストで入学志願者に解答させる教科・科目において指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、高得点の教科・科目の成績を用います。 ただし、『「地理歴史」，「公民」』における2科目受験者の成績のうち、当該科目の成績を用いる場合は、最初に解答した科目（第1解答科目）の成績とします。</p> <p>(注2) 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の専門教育等を主とする学科等において、専門教育に関する当該科目の履修者に限ります。</p> <p>(注3) 「外国語（英語）」は、リスニングを含みます。</p>	

〔配 点〕

試験の区分	国 語	地理歴史	公 民	数 学	外国語	小論文	面 接	合 計
大学入学共通テスト	150	(100)	(100)	(100)	150			400
本学が実施する試験等						200	200	400
合 計	150	(100)	(100)	(100)	150	200	200	800

(注1) 面接の配点には、書類審査を含みます。

(注2) 大学入学共通テストにおける「外国語(英語)」の配点内訳は、リーディング「120」、リスニング「30」です。

(4) 試験期日及び試験場等

試 験 期 日	試験科目	時 間	試 験 場
令和3年12月11日(土)	小論文	10:00~12:00(120分)	新潟大学人文社会科学系棟
	面接	13:00~	

教 育 学 部

(1) 募集人員

専修ごとに募集します。各専修の概ねの募集人員は、次のとおりです。

コ ー ス	学校教育コース			教科教育コース											計
専 修	学校 教育学	教育 心理学	特別支 援教育	国語 教育	社会科 教育	英語 教育	数学 教育	理科 教育	家庭科 教育	技術科 教育	音楽 教育	美術 教育	保健 体育		
概ねの募集人員	15人			45人											60人
	6人	4人	5人	6人	8人	5人	7人	6人	2人	3人	1人	2人	5人		

欠員が生じた場合は、その欠員分を学校教員養成課程の一般選抜における前期日程の募集人員に加えます。

① 入学後所属する「専修」の卒業要件について

学校教育コースの特別支援教育専修は、小学校教諭2種免許状を基礎資格とした特別支援学校教諭1種免許状を、その他の学校教育コース及び教科教育コース（小学校主免）の各専修は、小学校教諭1種免許状及び中学校教諭2種免許状または特別支援学校教諭2種免許状の取得可能な単位の修得を卒業要件とします。

※出願する際の注意点

- (注1) 教科教育コース英語教育専修を志願する者は、入学後の履修において実用英語技能検定（英検）2級以上の実力が求められます。
- (注2) 教科教育コース音楽教育専修を志願する者は、入学直後にConcone50番練習曲（版は特に指定しません。）No.7, 8, 9を弾き歌いできることが求められます。
- (注3) 学校推薦型選抜に合格し、教科教育コースに入学する者は、主として小学校教員をめざす履修コースである「小学校主免」に配属されます。

(2) 出願及び推薦の要件

令和4年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（(注)の者を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するものとします。

① 学業・人物ともに優れ、小学校教員になる強い意志と情熱をもつ者

なお、学校教育コースの特別支援教育専修を志願する者にあつては、**特別支援学校教員**になる強い意志と情熱をもつ者

② 合格した場合は、入学することを確約できる者

- (注) {
- ・令和3年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者
 - ・令和3年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者
 - ・令和3年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者
 - ・文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了した者及び修了見込みの者

(3) 選抜方法

令和4年度大学入学共通テストの成績，面接の結果及び出願書類を総合して行います。
[大学入学共通テストで受験を要する教科・科目「(5教科7科目もしくは8科目)又は
(6教科7科目もしくは8科目)」]

受験を要する教科・科目	
国語(国語 必須) 外国語(英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1)	
地理歴史・公民(世界史B, 日本史B, 地理B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から1又は2)	} から5又は6 (注6)
数学(数学I, 数学I・数学Aから1)	
数学(数学II, 数学II・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から1)	
理科(『「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2」又は「物理, 化学, 生物, 地学から1」』 もしくは 『①「物理, 化学, 生物, 地学から2」又は ②「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2及び物理, 化学, 生物, 地学から1」(注5)』)	
<p>(注1) 大学入学共通テストで入学志願者に解答させる教科・科目において，指定された教科・科目数を超えて受験している場合は，高得点の教科・科目の成績を用います。 ただし，『「地理歴史」, 「公民」』及び「理科」における取扱いは，次のとおりとします。</p> <p>1. 『「地理歴史」, 「公民」』における2科目受験者の成績のうち，1科目の成績を用いる場合は，2科目受験者が最初に解答した科目(第1解答科目)の成績とします。</p> <p>2. 「理科」については，次のように取扱います。</p> <p>a) 「基礎を付した科目」から2科目及び「基礎を付していない科目」から1科目を受験した者で，「基礎を付した科目」又は「基礎を付していない科目」のいずれかの成績を用いる場合は，高得点の成績とします。</p> <p>b) 「基礎を付していない科目」における2科目受験者の成績のうち，1科目の成績を用いる場合は，2科目受験者が最初に解答した科目(第1解答科目)の成績とします。</p> <p>(注2) 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校の専門教育を主とする学科又は総合学科等において，専門教育に関する当該科目の履修者に限ります。</p> <p>(注3) 「外国語(英語)」は，リスニングを含みます。</p> <p>(注4) 公民においては，「倫理」と「倫理, 政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理, 政治・経済」の選択はできません。</p> <p>(注5) 理科②の選択方法においては，同一名称を含む科目同士の選択は認めません。</p> <p>(注6) 「又は6」は，理科において「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎」を含む科目を選択した場合のみ。</p>	

〔配 点〕

試験の区分	国 語	地理歴史	公 民	数 学	理 科	外国語	面 接	書類審査	合 計
大学入学共通テスト	150	(75) (75)	(75) (75)	75 (75)	75 (75)	150			675
本学が実施する試験等							120	30	150
合 計	150	(150)	(150)	75 (75)	75 (75)	150	120	30	825

注) 大学入学共通テストにおける「外国語(英語)」の配点内訳は、リーディング「120」、リスニング「30」です。

(4) 試験期日及び試験場等

試 験 期 日	試験科目	時 間	試 験 場
令和3年11月20日(土)	面 接	受験案内(36～39ページ参照)で通知します。	新潟大学教育学部棟

理 学 部 (学校推薦型選抜Ⅱ型)

(1) 募集人員

学 科	主専攻プログラム	募集人員
理学科	化学プログラム	5人
	生物学プログラム	5人
	地質科学プログラム	5人
	自然環境科学プログラム	6人

主専攻プログラムごとに募集します。募集人員は概ねの人数です。なお、数学、物理学プログラムは、学校推薦型選抜Ⅰ型により募集します。学校推薦型選抜ではフィールド科学人材育成プログラムの募集は行いません。また、欠員が生じた場合は、その欠員分を一般選抜における前期日程の募集人員に加えます。

(2) 出願及び推薦の要件

令和4年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（(注)の者を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するものとします。

- ① 学業・人物ともに優れ、理学部が示した「求める学生像」に適合する者
- ② 合格した場合は、入学することを確約できる者

(注) {

- ・令和3年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- ・令和3年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者
- ・令和3年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者
- ・文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了した者及び修了見込みの者

(3) 選抜方法

令和4年度大学入学共通テストを課し、面接（地質科学、自然環境科学プログラム）及び出願書類により行います。入学者選抜の判定は、大学入学共通テストの成績、面接の結果（地質科学、自然環境科学プログラム）及び出願書類を総合して行います。

主専攻プログラム名	本学が実施する検査等
化学プログラム、生物学プログラム	(課さない)
地質科学プログラム、自然環境科学プログラム	面接

[大学入学共通テストで受験を要する教科・科目]

化学プログラム（4教科6科目）

受験を要する教科・科目
国 語（国語 必須） 数 学（数学Ⅰ・数学A 必須） 数 学（数学Ⅱ・数学B 必須） 理 科（化学 必須） 理 科（物理，生物，地学から1） 外国語（英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1） （注）「外国語（英語）」は，リスニングを含みます。

生物学プログラム（4教科6科目）

受験を要する教科・科目
国 語（国語 必須） 数 学（数学Ⅰ・数学A 必須） 数 学（数学Ⅱ・数学B 必須） 理 科（生物 必須） 理 科（物理，化学，地学から1） 外国語（英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1） （注）「外国語（英語）」は，リスニングを含みます。

地質科学プログラム，自然環境科学プログラム（4教科5科目）

受験を要する教科・科目
国 語（国語 必須） 数 学（数学Ⅰ・数学A 必須） 数 学（数学Ⅱ・数学B 必須） 理 科（物理，化学，生物，地学から1） 外国語（英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1） （注）「外国語（英語）」は，リスニングを含みます。

[配 点]

化学プログラム

試験の区分	国 語	数 学	理 科	外国語	面 接	書類審査	合 計
大学入学共通テスト	100	100	化 100 ほか50	100			450
本学が実施する試験等						100	100
合 計	100	100	150	100		100	550

注) 大学入学共通テストにおける「外国語(英語)」の配点内訳は，リーディング「80」，リスニング「20」です。

生物学プログラム

試験の区分	国語	数学	理科	外国語	面接	書類審査	合計
大学入学共通テスト	100	100	生 100 ほか50	100			450
本学が実施する試験等						100	100
合計	100	100	150	100		100	550

注) 大学入学共通テストにおける「外国語(英語)」の配点内訳は、リーディング「80」、リスニング「20」です。

地質科学プログラム

試験の区分	国語	数学	理科	外国語	面接	書類審査	合計
大学入学共通テスト	50	50	50	50			200
本学が実施する試験等					200	100	300
合計	50	50	50	50	200	100	500

注) 大学入学共通テストにおける「外国語(英語)」の配点内訳は、リーディング「40」、リスニング「10」です。

自然環境科学プログラム

試験の区分	国語	数学	理科	外国語	面接	書類審査	合計
大学入学共通テスト	100	100	100	100			400
本学が実施する試験等					100	100	200
合計	100	100	100	100	100	100	600

注) 大学入学共通テストにおける「外国語(英語)」の配点内訳は、リーディング「80」、リスニング「20」です。

[大学入学共通テストの成績の取扱い]

大学入学共通テストで入学志願者に解答させる教科・科目において、理科②における2科目受験者の成績のうち、1科目の成績を用いる場合は、2科目受験者が最初に解答した科目(第1解答科目)の成績とします。

(4) 試験期日及び試験場等

主専攻プログラム名	試験科目, 試験期日	試験場
化学プログラム	化学, 生物学プログラムは書類審査のみのため来学する必要はありません。	/
生物学プログラム		
地質科学プログラム	面接, 令和3年11月20日(土) 10:00~ ※ 11月21日(日) 10:00~	新潟大学 理学部棟
自然環境科学プログラム		

※ 面接日時については、受験案内(36~39ページ参照)で通知します。
志願者多数の場合は、面接期日が11月21日(日)になることがあります。

歯 学 部

(1) 募集人員

学 科	募集人員
歯 学 科	8 人
口腔生命福祉学科	5 人

欠員が生じた場合は、その欠員分を当該学科の一般選抜における前期日程の募集人員に加えます。

(2) 出願及び推薦の要件

令和4年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（(注)の者を含む。）で、次に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するものとします。

学 科	学校推薦型選抜の対象となる者(出願要件)
歯 学 科	① 学習成績概評がⒶ又はAで、人物も優れ、歯学の学習に熱意のある者 ② 合格した場合は、入学することを確約できる者 ※ 当該学校長が推薦できる人員は、1校につき2人以内とします。
口腔生命福祉学科	① 学業・人物ともに優れ、口腔保健学及び社会福祉学の学習に熱意と明確な目的意識を有する者 ② 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 ③ 合格した場合は、入学することを確約できる者 ※ 当該学校長が推薦できる人員は、1校につき3人以内とします。

(注) {

- ・令和3年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- ・令和3年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者
- ・令和3年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者
- ・文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了した者及び修了見込みの者

}

(3) 選抜方法

令和4年度大学入学共通テストの成績、小論文、面接の結果及び出願書類を総合して行います。

[大学入学共通テストで受験を要する教科・科目]

学 科	受験を要する教科・科目	受験を要する教科・科目数
歯 学 科	国 語（国語 必須） 数 学（数学Ⅰ・数学A 必須） 数 学（数学Ⅱ・数学B 必須） 理 科（物理，化学，生物から2） 外国語（英語，ドイツ語，フランス語から1） 地理歴史・公民（世界史B，日本史B，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」から1） （注）「外国語（英語）」は，リスニングを含みます。	5教科7科目

学 科	受験を要する教科・科目	受験を要する教科・科目数
口腔生命福祉学科	国 語（国語 必須） 数 学（数学Ⅰ・数学A 必須） 外国語（英語，ドイツ語，フランス語から1） 数 学（数学Ⅱ・数学B） 理 科（『物理基礎，化学基礎，生物基礎から2』又は「物理，化学，生物から1』） もしくは 『①「物理，化学，生物から2』又は②「物理基礎，化学基礎，生物基礎から2及び物理，化学，生物から1』（注4）』 地理歴史・公民（世界史B，日本史B，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」から1又は2）	から3 又は4 （注5） 〔5教科6科目 もしくは7科目 又は 〔6教科6科目 もしくは7科目〕
（注1）「外国語（英語）」は，リスニングを含みます。 （注2）「理科」から最低1科目（基礎科目は2科目）及び「地理歴史又は公民」から最低1科目を選択すること。 （注3）公民においては，「倫理」と「倫理，政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理，政治・経済」の選択はできません。 （注4）②の選択方法においては，同一名称を含む科目同士の選択は認めません。 （注5）「又は4」は，理科において「物理基礎，化学基礎，生物基礎」を含む科目を選択した場合のみ。		

〔配点〕
歯学科

試験の区分	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合計
大学入学共通テスト	200	(100)	(100)	200	200	200			900
本学が実施する試験等							250	250	500
合計	200	(100)	(100)	200	200	200	250	250	1,400

注) 大学入学共通テストにおける「外国語(英語)」の配点内訳は、リーディング「160」、リスニング「40」です。

口腔生命福祉学科

試験の区分	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合計
大学入学共通テスト	200	(100) (100)	(100) (100)	100 (100)	100 (100)	200			800
本学が実施する試験等							200	200	400
合計	200	(100) (100)	(100) (100)	100 (100)	100 (100)	200	200	200	1,200

注) 大学入学共通テストにおける「外国語(英語)」の配点内訳は、リーディング「160」、リスニング「40」です。

〔大学入学共通テストの成績の取扱い〕

大学入学共通テストで入学志願者に解答させる教科・科目において、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、高得点の教科・科目の成績を用います。

ただし、『「地理歴史」、「公民」』及び「理科」における取扱いは、次のとおりとします。

1. 『「地理歴史」、「公民」』における2科目受験者の成績のうち、1科目の成績を用いる場合は、2科目受験者が最初に解答した科目（第1解答科目）の成績とします。
 2. 「理科」については、次のように取扱います。〔口腔生命福祉学科〕
 - a) 理科①（注1）から2科目及び理科②（注2）から1科目を受験した者で、「基礎を付した科目」又は「基礎を付していない科目」のいずれかの成績を用いる場合は、高得点の成績とします。
 - b) 理科②（注2）における2科目受験者の成績のうち、1科目の成績を用いる場合は、2科目受験者が最初に解答した科目（第1解答科目）の成績とします。
- （注1）理科①は「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」を指します。（基礎を付した科目）
（注2）理科②は「物理」、「化学」、「生物」を指します。（基礎を付していない科目）

(4) 試験期日及び試験場等

試験期日	試験科目	時間	試験場
令和3年11月27日(土)	小論文	9:30~11:30 (120分)	新潟大学歯学部棟
	面接	13:00~	

工 学 部 （学校推薦型選抜Ⅱ型）

(1) 募集人員

学 科	主専攻プログラム	募集人員
工学科	機械システム工学プログラム	15人
	社会基盤工学プログラム	4人
	電子情報通信プログラム	11人
	知能情報システムプログラム	12人
	化学システム工学プログラム	10人
	材料科学プログラム	7人
	建築学プログラム	4人
	人間支援感性科学プログラム	5人
	協創経営プログラム	10人
	合 計	78人

主専攻プログラムごとに募集します。各プログラムの募集人員は概ねの人数です。なお、大学入学共通テストを課さない「学校推薦型選抜Ⅰ型」との併願はできません。また、欠員が生じた場合は、その欠員分を一般選抜における前期日程の募集人員に加えます。

(2) 出願及び推薦の要件

令和4年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（（注）の者を含む。）及び令和2年度中に高等学校又は特別支援学校の高等部を卒業した者で、次の各号に該当し、当該学校長が責任をもって推薦するものとします。

- ① 人物・学業成績がともに優れ、工学の学習に熱意のある者
- ② 合格した場合は、入学することを確約できる者

（注）

- ・令和3年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- ・令和3年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者
- ・令和3年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者
- ・文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了した者及び修了見込みの者

(3) 選抜方法

令和4年度大学入学共通テストの成績、面接での評価及び調査書等の内容を総合して行います。なお、調査書については点数化し、推薦書については面接における参考資料として活用します。

[大学入学共通テストで受験を要する教科・科目]

機械システム工学プログラム，社会基盤工学プログラム，電子情報通信プログラム，
化学システム工学プログラム，材料科学プログラム（3教科3科目）

受験を要する教科・科目
数 学（数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎から1） 理 科（物理，化学，生物，地学から1） 外国語（英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1）

知能情報システムプログラム，人間支援感性科学プログラム（3教科3科目）

受験を要する教科・科目
数 学（数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎から1） 外国語（英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1） 国 語（国語） 理 科（物理，化学，生物，地学から1） 地理歴史・公民（世界史B，日本史B，地理B，現代社会，倫理， 政治・経済，「倫理，政治・経済」から1）

} から1

建築学プログラム（3教科3科目）

受験を要する教科・科目
国 語（国語 必須） 数 学（数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎から1） 外国語（英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1）

協創経営プログラム（3教科3科目）

受験を要する教科・科目
国 語（国語 必須）（近代以降の文章のみ利用する） 数 学（数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎から1） 外国語（英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1）

[大学入学共通テストの成績の取扱い]

- (注1) 大学入学共通テストで入学志願者に解答させる教科・科目において，指定された教科・科目数を超えて受験している場合は，高得点の教科・科目の成績を用います。ただし，『「地理歴史」，「公民」』及び理科における2科目受験者の成績のうち，当該科目の成績を用いる場合は，最初に解答した科目（第1解答科目）の成績とします。
- (注2) 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校の専門教育等を主とする学科等において，専門教育に関する当該科目の履修者に限ります。
- (注3) 「外国語（英語）」は，リスニングを含みます。

〔配 点〕

機械システム工学プログラム，社会基盤工学プログラム，電子情報通信プログラム，
化学システム工学プログラム，材料科学プログラム

試験の区分	国 語	地理歴史	公 民	数 学	理 科	外国語	面 接	書類審査	合 計
大学入学共通テスト				200	100	100			400
本学が実施する試験等							140	60	200
合 計				200	100	100	140	60	600

注) 大学入学共通テストにおける「外国語(英語)」の配点内訳は，リーディング「80」，リスニング「20」です。

知能情報システムプログラム，人間支援感性科学プログラム

試験の区分	国 語	地理歴史	公 民	数 学	理 科	外国語	面 接	書類審査	合 計
大学入学共通テスト	(100)	(100)	(100)	200	(100)	100			400
本学が実施する試験等							140	60	200
合 計	(100)	(100)	(100)	200	(100)	100	140	60	600

注) 大学入学共通テストにおける「外国語(英語)」の配点内訳は，リーディング「80」，リスニング「20」です。

建築学プログラム，協創経営プログラム

試験の区分	国 語	地理歴史	公 民	数 学	理 科	外国語	面 接	書類審査	合 計
大学入学共通テスト	100			200		100			400
本学が実施する試験等							140	60	200
合 計	100			200		100	140	60	600

注) 大学入学共通テストにおける「外国語(英語)」の配点内訳は，リーディング「80」，リスニング「20」です。

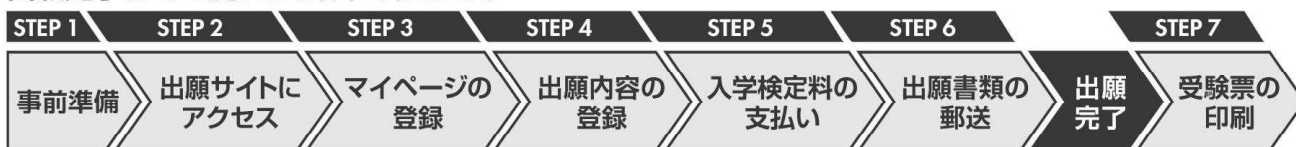
(4) 試験期日及び試験場等

試 験 期 日	試験科目	面接日時及び集合時刻	試 験 場
令和3年11月20日(土) 11月21日(日) (いずれかの1日)	面 接	受験案内(36～39ページ参照) で通知します。	新潟大学工学部棟

3 出願手続

(1) インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP
1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。
※調査書、自己推薦書など

STEP
2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/niigata-u/>
または、
大学ホームページ ▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/> からアクセス

STEP
3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

① 初めて登録する方は「マイページ登録」からログインしてください。

② メールアドレスの登録を行って「仮登録メールを送信」をクリックしてください。

③ ユーザー登録画面から「ログインページへ」をクリックしてください。

④ 登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.idのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて「ログイン」をクリックしてください。

⑥ 初期パスワードの変更を行ってください。

⑦ 表示された個人情報を入力して「次へ」をクリックしてください。

⑧ 個人情報を確認して「この内容で登録する」をクリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
 を
 クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
 マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
 登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをおしてください。

STEP

4



出願内容の登録 (登録可能期間は、33ページを参照してください。)

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①入試の種類



②写真



③テスト送信メールの確認
 テストメール送信を行い、登録アドレスにテストメール受信の確認後、メールアドレス下の【メール確認済】のチェック☑を入れてください。



④個人情報(氏名・住所等)



⑤申込登録完了
 受付番号(12桁)は必ず控えてください。
 出願情報を確認する場合と、出願書類を出力する際に必要になります。



⑥入学検定料の支払い方法
 ● コンビニエンスストア
 ● ペイジー対応銀行ATM
 ● ネットバンキング



⑦入学志願票PDF(イメージ)

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号 番号メモ(13桁)													
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ(11桁)											
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、
ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ(11桁)											
確認番号 メモ(6桁)											
収納機関番号 (5桁)	58021	※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。									

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。
 受付完了後、募集要項記載の期日に「受験票ダウンロード通知」及び「受験案内ダウンロード通知」が送信されます。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

入学検定料の支払い

1 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

インターネットで手続き完了

2 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン



Seicomart

Loppi

LAWSON



Famiポート

あなかも、コンビニ、
FamilyMart

3 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

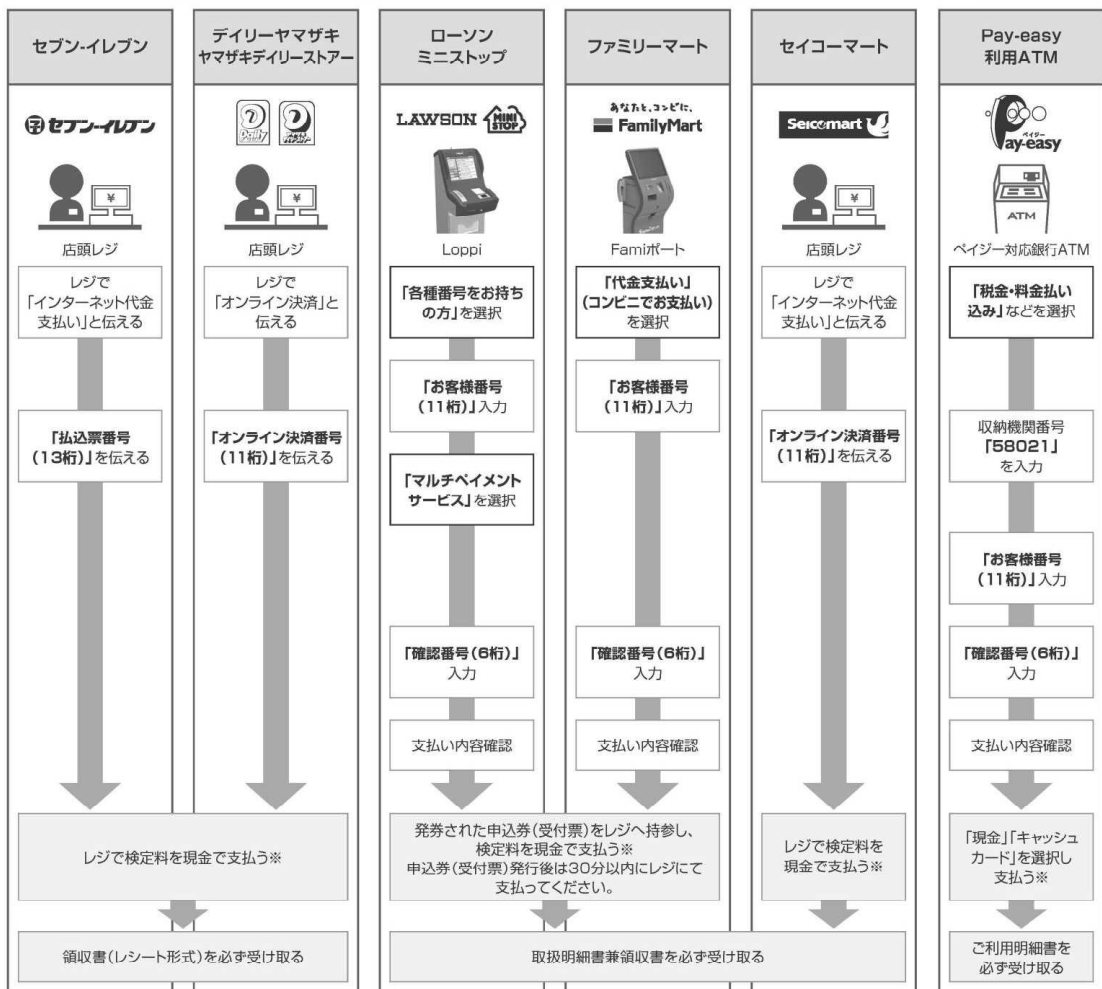
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6



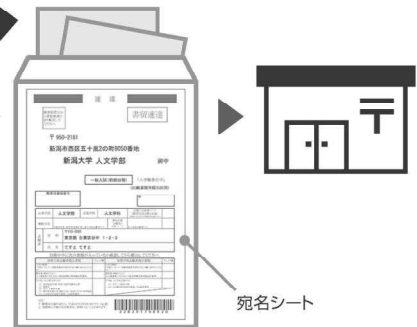
出願書類の郵送

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全てカラー印刷し、出願書類を出願期間内に必着となるように郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。

出願書類は、33～35ページを参照して準備してください。

送付先は出願する学部によって異なります。
36ページを参照してください。



「Web志願票」の印刷方法



- (1) マイページに表示された **志願票(印刷)** のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると **志願票(印刷)** のボタンがクリックできるようになりWeb志願票の出力ができます。

※出願受理した入学検定料・出願書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の 注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。インターネット出願は24時間可能です。ただし、入学検定料の支払いは出願締切日まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、出願書類の郵送は出願締切日必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票・受験案内の印刷

本学で出願書類を受理した後、受験票及び受験案内のダウンロードが可能になりましたら、メールにて出願時に登録したメールアドレスへ通知します。インターネット出願システムより受験票及び受験案内をダウンロード後、必ず印刷し、試験当日持参してください。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙にカラー印刷してください。



新潟大学インターネット出願サイトの管理・運営は、株式会社ディスコが行っています。

お問合せ先

■「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター

TEL: 0120-202079 E-Mail: cvs-web@disc.co.jp

(2) 出願方法

入学志願者は、本学のインターネット出願サイト(<https://e-apply.jp/ds/niigata-u/>)から出願登録及び入学検定料支払いを行ってください。出願登録期間は、令和3年10月25日(月)9:00から11月4日(木)までです。

その後、「入学志願票」、「出願書類提出用宛名」をダウンロードし、カラー印刷してください。

出願書類提出用封筒は、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に、カラー印刷した「出願書類提出用宛名」を貼り付けて作成してください。

出願書類提出用封筒に、出願書類を一括して入れ、出願期間内に必着となるように書留速達により郵送してください。

(3) 出願期間

令和3年11月1日(月)から11月4日(木)まで(必着)

(注1) 出願期間後に到着したものは受理しません。ただし、11月2日(火)以前の発信局(日本国内)消印のある書留速達郵便に限り、期間後に到着した場合でも受理します。

(注2) 同一学部を志願する複数人の出願書類等を高等学校等で一括して郵送する場合は、個人別に厳封のうえ、当該志願学部へ郵送してください。

(4) 出願書類等

[全員が提出する書類等]

出願書類等	摘 要
①入学志願票	<p>本学のインターネット出願サイト(https://e-apply.jp/ds/niigata-u/)から出願内容の登録を行ってください。</p> <p>出願内容の登録の際、志願者の写真をアップロードしてください。写真は、上半身、無帽、正面向きのもので出願前3か月以内に撮影したもの(受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影したもの)とし、比率は縦4×横3、ファイルサイズは2MBまでとします。</p> <p>入学検定料17,000円の支払方法は、コンビニエンスストア、ゆうちょ銀行・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。(それぞれの支払方法に関する詳細は、インターネット出願サイトをご確認ください。)</p> <p>その後、「入学志願票」と「出願書類提出用封筒宛名」をダウンロードし、カラー印刷してください。</p>
②推薦書	<p>本学ホームページ > 受験生の方 > 受験生特設サイト > 学校推薦型選抜(https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/faculty/recommendation/)からダウンロードした所定様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。</p>
③調査書	<ul style="list-style-type: none">文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、経済科学部、工学部(学校推薦型選抜I型(出願要件①))、農学部又は歯学部(歯学科)を志願する者は、出身学校長に調査書の作成を依頼する際に、本要項に添付の「調査書作成に関するお願い」のページを印刷し、学校長に依頼してください。被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業(見込)証明書や成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもって代えることができます。本人が被災等によりこれらの書類をも整えられない場合は、出身学校等を所管する教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。また、本人に対して面接等を行うことがあります。新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により、調査書の特別活動の記録及び指導上参考となる諸事項の欄が記載できない場合は、その理由を付した上で、当初参加を予定していた大会名や資格・検定試験名などを記載してください。

▶ 学校推薦型選抜 I 型（大学入学共通テストを課さない）

法学部，経済科学部，理学部，医学部（保健学科），工学部

[該当者が提出する書類等]

志願学部等	出願書類等	摘 要
法学部	自己申告書	本要項に添付の所定様式を印刷し，志願者本人が自筆したもの。
経済科学部	志願理由書	本要項に添付の所定様式を印刷し，志願者本人が自筆したもの。
理学部 (数学，物理学 プログラム)	面接のための参考資料	本要項に添付の所定様式を印刷し，志願者本人が自筆したもの。
医学部 (保健学科)	志願理由書	本要項に添付の所定様式を印刷し，志願者本人が自筆したもの。
工学部	[出願要件②又は出願要件⑤で出願する者] 活動報告書	出願要件②又は出願要件⑤で出願する者は，出願要件に該当していることを証明する客観的資料として，本要項に添付の所定様式を印刷し，主要な活動の経歴，成果等を志願者本人が自筆し，記載事項確認者が確認したものを提出してください。記載事項確認者は推薦学校長としてください。
	[出願要件③で出願する者] 右欄記載の客観的資料	出願要件③で出願する者は，出願要件に該当していることを証明する客観的資料として，別表(10ページ)の科学系コンテストの成績が証明できる書類(証明書等)を提出してください。(写しで可)
	[出願要件④で出願する者] 右欄記載の客観的資料 ※出願時に提出のあった作品等は返却しません。	出願要件④のうち，「優れた造形芸術の能力をもつ者」の出願要件で出願する者は，出願要件に該当していることを証明する客観的資料として，本人が制作した美術作品について，次の2つの資料を提出してください。(本人が過去3年以内に作品を制作したことを推薦学校長が証明する書類(様式は任意)を，厳封のうえ，添付してください。) ① 作品の概要書 作品の概要，制作意図を記した書類 (A4用紙1枚以内。様式は任意とします。) ② 作品資料 造形作品の場合は写真(立体作品では多方向から撮影したもの)・設計図などの資料，映像作品の場合は映像データ (映像データの記録媒体は，ファイナライズ処理されたDVD-R又はブルーレイディスク1枚とします。) ※上記の本人が制作した美術作品は，面接時に持参することができます。ただし，面接時に持参可能な作品は2点以内とし，教室内に自力かつ短時間で搬入できる大きさ・重量とします。(高さ2m，幅1mのドアから搬入可能なもの。)
		出願要件④のうち，「優れた音楽の演奏能力又は作曲能力をもつ者」の出願要件で出願する者は，出願要件に該当していることを証明する客観的資料として，本人による演奏を記録した映像データ又は本人が作曲した音楽作品を提出してください。(本人が過去3年以内に演奏又は作曲したことを推薦学校長が証明する書類(様式は任意)を，厳封のうえ，添付してください。) ① 本人による演奏を記録した映像データ (記録媒体は，ファイナライズ処理されたDVD-R又はブルーレイディスク1枚とします。) ② 本人が作曲した音楽作品 次の2つのうち，いずれか1つを提出してください。

		<p>1 スコア (パート譜は不要です。)</p> <p>2 オーディオ・ファイル (記録媒体は、ファイナライズ処理されたDVD-R又はブルーレイディスク1枚とし、オーディオ形式は任意とします。)</p>
		<p>出願要件④のうち、「優れたスポーツの技能を有する者」の出願要件で出願する者は、出願要件に該当していることを証明する客観的資料として、各種大会の参加、公式記録、入賞を証明するもの(参加証、記録認定証、賞状、新聞、雑誌等)を提出してください。(写しで可)なお、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、各種の大会等が中止・延期等となり、上記の資料が提出できない場合は、それに向けた努力のプロセス等をA4用紙1枚(様式は任意)に記載したものを提出してください。(各種大会の参加、公式記録、入賞が過去3年以内かつ本人のものであること等を推薦学校長が証明する書類(様式は任意)を、厳封のうえ、添付してください。)</p>

▶ 学校推薦型選抜Ⅱ型(大学入学共通テストを課す)

人文学部, 教育学部, 理学部, 歯学部, 工学部

[全員が提出する書類等]

出 願 書 類 等	摘 要
令和4 共通テスト成績請求票 <input type="checkbox"/> 推薦 国公立推薦型選抜用	出願時に提出することはできないため、 <u>12月中旬に大学入試センターから届き次第、速やかに、「(5)出願書類等送付先」あてに書留速達により郵送してください。</u> なお、「成績請求票」裏面には、新潟大学受験番号、志願者氏名を記入してください。

[該当者が提出する書類等]

志願学部等	出願書類等	摘 要
人文学部	志願理由書	本要項に添付の所定様式を印刷し、志願者本人が自筆したもの。A3判の用紙に両面印刷(短辺とじ)として1枚に収めてください。所定様式以外の参考資料等の提出は不要です。
教育学部	志願理由書	本要項に添付の所定様式を印刷し、志願者本人が自筆したもの。
理学部	志願理由書 (化学, 生物学プログラムの志願者)	本要項に添付の所定様式を印刷し、志願者本人が自筆したもの。
	面接のための参考資料 (地質科学, 自然環境科学プログラムの志願者)	本要項に添付の所定様式を印刷し、志願者本人が自筆したもの。
歯学部	志願理由書	本要項に添付の所定様式を印刷し、志願者本人が自筆したもの。

(5) 出願書類等送付先

学部等	送 付 先		問 合 せ 先	
	郵便番号	所 在 地		
人文学部	950-2181	新潟市西区五十嵐2の町8050番地	人文学部学務係	(025) 262-6281
教育学部			教育学部学務係	(025) 262-7096
法学部			法学部学務係	(025) 262-6283
経済科学部			経済学部学務係	(025) 262-6284
理学部			理学部学務係	(025) 262-6106
工学部			工学部学務係	(025) 262-6709
農学部			農学部学務係	(025) 262-6605
医学部(保健学科)	951-8518	新潟市中央区旭町通2番町746番地	医学部保健学科学務係	(025) 227-2357
歯学部	951-8514	新潟市中央区学校町通2番町5274番地	歯学部学務係	(025) 227-2798

(6) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- ② 出願書類等及び既納の検定料は、返還しません。
ただし、検定料振り込み後、出願期間内に出願書類等を提出しなかった場合は、当該検定料(17,000円)を返還します。
詳細は、本学ホームページの「受験生特設サイト(<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>)」
→「納付済検定料返還手続」を参照してください。
- ③ 出願書類等受付後は、書類の記載事項の変更は認めません。
- ④ 学校推薦型選抜の出願は、1つの大学・学部に限りますが、学校推薦型選抜に合格しなかった場合に備えて、一般選抜の中で「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの、合計2つの大学・学部にも出願できます。
本学の一般選抜(前期日程、後期日程)に出願を希望する者は、本学ホームページ等で出願手続を確認のうえ、令和4年1月24日(月)から2月4日(金)までの間にあらためて出願してください。

4 「受験票」及び「受験案内」について

次ページの表に示す受験票ダウンロード通知日に、出願時に登録したメールアドレスあて、「受験票ダウンロード通知」及び「受験案内ダウンロード通知」を送信しますので、当該メール本文に記載された手順等に従って、受験票及び受験案内をダウンロードして印刷してください。

なお、受験票ダウンロード通知日中にメールが届かない場合でも、出願書類が受理されていれば、受験票ダウンロード通知日の翌日以降に本学のインターネット出願サイト(<https://e-apply.jp/ds/niigata-u/>)のマイページから、受験票等のダウンロードができます。

学 部 等	受験票ダウンロード通知日
人文学部	令和3年11月11日（木）
教育学部	
法学部	令和3年11月8日（月）
経済科学部	令和3年11月11日（木）
理学部（学校推薦型選抜Ⅰ型及びⅡ型）	
医学部（保健学科）	
歯学部	
工学部（学校推薦型選抜Ⅰ型及びⅡ型）	
農学部	

(1) 志願者が郵送した出願書類等を本学が受理した後、受験票ダウンロード通知日に、インターネット出願登録時に登録した志願者のメールアドレスへ以下の内容のメールを送信します。

※ メール本文の内容は、変更されることがあります。

※ 登録したメールアドレスは成績開示等でも使用します。常時、使用・確認できるように管理してください。

【e-applyインターネット出願サイト】

新潟大学 出願手続 受験票ダウンロード通知

このたびは、出願サイトをご利用いただき、誠にありがとうございます。
 受験票の印刷が可能となりましたので、お知らせいたします。

■以下のURLから受験票を印刷してください。

<https://e-apply.jp/ds/niigata-u/public/login>

■受付番号

123456789012

※受験番号ではありません。

■注意

○試験当日は、印刷した受験票を持参してください。

○スマートフォン等の画面表示による受験票の提示は認めません。

○本メールは入試が終了するまで大切に保管してください。

○登録したメールアドレスは成績開示等でも使用します。常時、使用・確認できるように管理してください。

本メールは、送信専用メールアドレスから配信されています。
返信をいただいてもお答えできませんので、ご了承ください。

お問合せ先

■「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター
TEL:0120-202079 E-Mail:cvs-web@disc.co.jp

(2) 受験案内についても、受験票ダウンロード通知日に、インターネット出願登録時に登録した志願者のメールアドレスへ以下の内容のメールを送信します。

※ メールの内容は、変更されることがあります。

【e-applyインターネット出願サイト】

新潟大学 出願手続 受験案内ダウンロード通知

このたびは、出願サイトをご利用いただき、誠にありがとうございます。
受験案内の印刷が可能となりましたので、お知らせいたします。

■以下のURLから受験案内を印刷し、熟読してください。

<https://e-apply.jp/ds/niigata-u/public/login>

■受付番号

123456789012

※受験番号ではありません。

■注意

○本メールは入試が終了するまで大切に保管してください。

○登録したメールアドレスは成績開示等でも使用します。常時、使用・確認できるように管理してください。

本メールは、送信専用メールアドレスから配信されています。
返信をいただいてもお答えできませんので、ご了承ください。

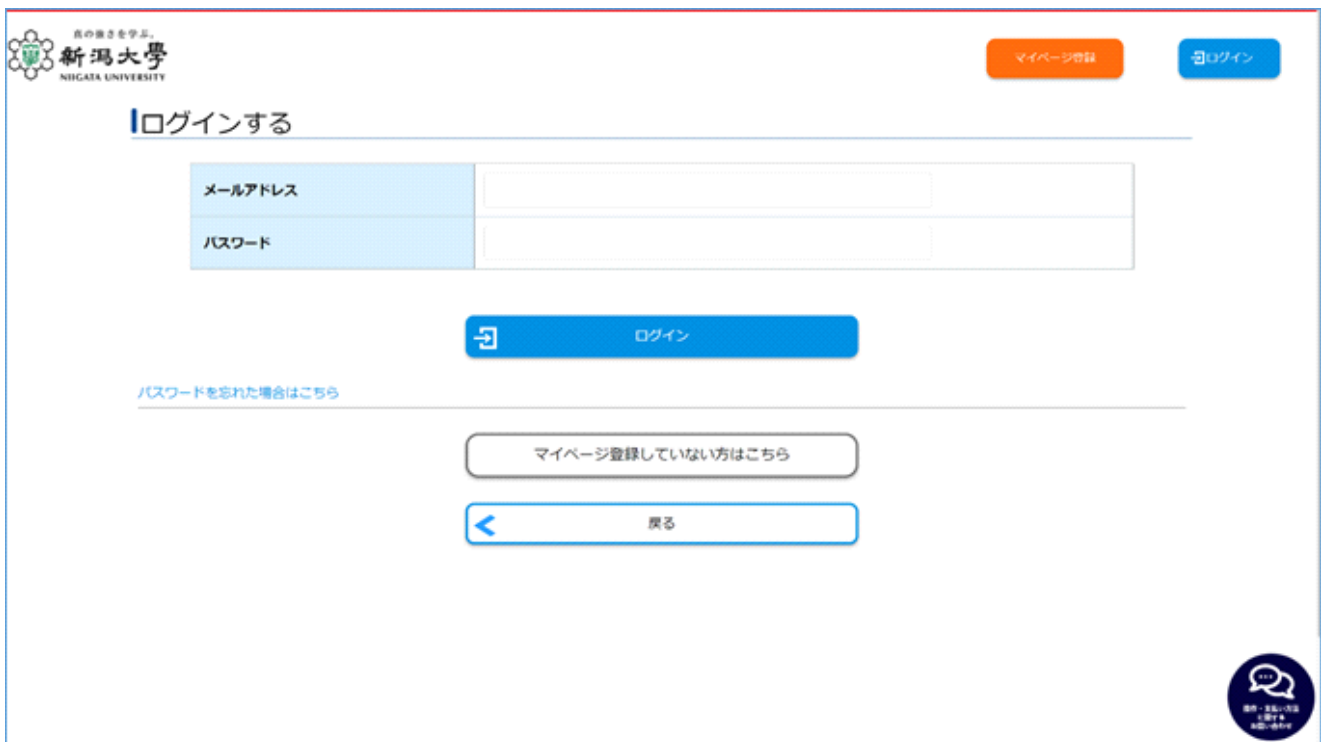
お問合せ先

■「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター
TEL:0120-202079 E-Mail:cvs-web@disc.co.jp

- (3) メールに記載されているURLをクリックすると以下の画面が表示されますので、志願者の「メールアドレス」「パスワード」を入力して「ログイン」をクリックしてください。

【ログイン画面】

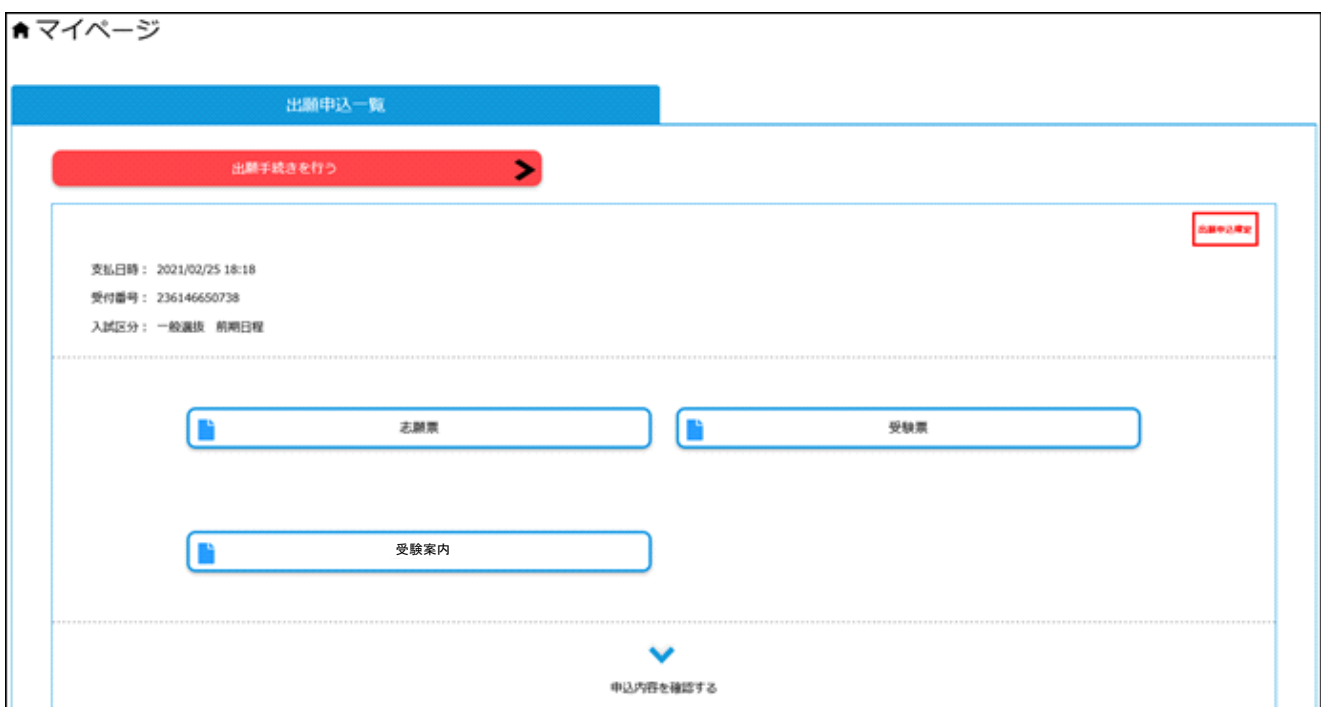
画面はイメージです。



- (4) マイページにログイン後、以下の画面が表示されますので、受験票及び受験案内をダウンロードし、A4用紙にカラー印刷して、試験当日に持参してください。また、受験案内は予め熟読してください。

【志願票・受験票・受験案内ダウンロードページ】

画面はイメージです。



5 受験上の注意事項

(1) 試験当日及び試験時間中の留意事項

- ① 試験当日は、「新潟大学学校推薦型選抜受験票」を必ず携帯してください。
- ② 筆記用具等は、黒鉛筆（黒シャープペンシルを含みます）・鉛筆キャップ・鉛筆削り（電動式を除きます）・消しゴムとします。これ以外は使用できません。
- ③ 時計の使用は、計時機能だけのものに限りませす。辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいものは使用できません。
- ④ その他受験に際しての詳細は、「受験案内」で指示します。

(2) 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。

- (a) 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど。）をすること。
- (b) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- (c) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (d) 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- (e) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (f) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (g) 試験時間中に、スマートフォンや携帯電話、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- (h) 試験時間中に、持ち込みを許可されたもの以外の補助具（定規、コンパス、電卓等）を使用すること。
- (i) 「解答やめ。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記①と同様です。

- (a) 試験時間中に、持ち込みを許可されたもの以外の補助具（定規、コンパス、電卓等）及びスマートフォンや携帯電話、ウェアラブル端末等の電子機器類等をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- (b) 試験時間中にスマートフォンや携帯電話、時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に多大な影響を与えること。
- (c) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- (d) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (e) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (f) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

6 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する注意事項

(1) 医療機関の受診

発熱・咳等の症状がある受験者は、あらかじめ医療機関を受診してください。

(2) 受験できない者

- ・新型コロナウイルスに罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者
- ・保健所から新型コロナウイルス感染症の患者と濃厚接触したと判断され、検査結果が判明していない者

なお、上記により受験できなかった場合の追試験等の措置は行いませんのでご留意願います。

(3) 試験当日の対応

発熱・咳等の症状がある受験者は、試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合は受験を取りやめてください。

37.5度までの熱はないものの、発熱や咳等症状のある受験者は、その旨を受験者入口で申し出てください。

症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験場では、昼食時以外は常に着用してください。

試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、服装については、換気を行うことを考えて調節してください。

(4) 「新しい生活様式」等の実践

日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。

7 障がい等を有する入学志願者の事前相談

障がい等を有する入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、次により本学と相談してください。健康上の事情によりマスクの着用が困難な場合も相談してください。

(1) 相談の期限

令和3年10月8日(金)までとします。

ただし、事前の準備を必要とする場合がありますので、できる限り早い時期に相談してください。

なお、相談の期限後に配慮が必要となった場合は、至急(4)の連絡先に問い合わせてください。

(2) 相談の方法

申請書(所定用紙)に必要事項を記入のうえ、医師の診断書等必要書類を添付し、提出してください。

(3) 提出書類

- ① 申請書(所定用紙。本学ホームページの「受験生特設サイト」掲載のPDF)
- ② 診断書(写し可。発行後6か月以内、または大学入学共通テスト出願時に提出したものの写し)
また、大学入学共通テストの「受験上の配慮決定通知書」がある場合は、その写しを提出してください。なお、必要な場合は、本学において志願者及び関係者等と面談を行います。

(4) 連絡先・申請書提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学学務部入試課 電話 (025) 262-6079

8 合格者の発表

- (1) 各学部の合格者発表期日の午前10時に合格者の受験番号を合格発表Webサイト(<https://daigaku.jc.jp/niigata-u/>) に掲載するとともに、推薦学校長及び志願者本人に選考結果を速達郵便で通知します。(人文学部、医学部保健学科、工学部及び農学部においては本人への通知は合格者のみになります。)



学部等	合格発表期日	学部等	合格発表期日
人文学部	令和4年2月11日(金)	医学部 (保健学科)	令和3年12月16日(木)
教育学部	令和4年2月11日(金)	歯学部	令和4年2月11日(金)
法学部	令和3年12月22日(水)	工学部	学校推薦型選抜Ⅰ型 令和3年12月10日(金)
経済科学部	令和3年12月16日(木)		学校推薦型選抜Ⅱ型 令和4年2月11日(金)
理学部	学校推薦型選抜Ⅰ型 令和3年12月3日(金)	農学部	令和3年12月3日(金)
	学校推薦型選抜Ⅱ型 令和4年2月11日(金)		

注1) 合格発表当日の本学ホームページへのアクセスについては、回線が大変混み合い、つながりにくくなる場合があります。つながりにくい場合は、しばらく時間をおいてから再度アクセスしてください。

注2) 電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

注3) JR新潟駅周辺又は新潟大学最寄りの駅等で、可否電子郵便等の勧誘を行っていることがありますが、新潟大学では、そのようなことは行っていません。不当な料金を請求される等のトラブルも発生していますので、十分注意してください。

- (2) 合格者は他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除き、本学を含む。以下同じ。)を受験しても、入学許可は得られません。

ただし、特別の事情があり、当該推薦学校長から「学校推薦型選抜入学辞退願」が提出され、令和4年2月21日(月)までに本学が入学辞退を許可した場合は、この限りではありません。入学辞退の手続については、合格者に送付する「入学手続案内」でお知らせします。

※公立大学協会ホームページ(<https://www.kodaikyo.org/>)参照

9 入学手続等

入学手続の概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、学校推薦型選抜Ⅰ型(大学入学共通テストを課さない)においては2月上旬に送付する「入学手続案内」により、学校推薦型選抜Ⅱ型(大学入学共通テストを課す)においては「合格通知書」とともに送付する「入学手続案内」により通知します。

また、合格者が令和4年2月21日(月)までに入学手続を完了しないときは、新潟大学学校推薦型選抜合格者としての権利を消失します。この場合、他の国公立大学を受験しても、入学許可は得られません。ただし、8(2)のただし書きに該当する者を除きます。

(1) 入学手続期間

令和4年2月20日(日)から2月21日(月)までの期間に、郵送(書留速達、必着)により手続を行ってください。

(2) 入学手続に必要な書類等

- ① 入学料 282,000円(予定額)の振り込みを証する書類
- ② 学校推薦型選抜Ⅰ型受験票(法学部, 経済科学部, 理学部(学校推薦型選抜Ⅰ型), 医学部(保健学科), 工学部(学校推薦型選抜Ⅰ型)又は農学部)に合格した者
大学入学共通テスト受験票(人文学部, 教育学部, 理学部(学校推薦型選抜Ⅱ型), 歯学部又は工学部(学校推薦型選抜Ⅱ型)に合格した者)
- ③ その他の書類については「入学手続案内」送付の際に通知します。

○授業料

年額 535,800円(前期分 267,900円, 後期分 267,900円)(予定額)

- (1) 授業料は, 入学後, 口座引き落としにより納付していただく予定です。
- (2) 授業料の納付方法の詳細については, 合格者に別途通知します。
- (3) 在学中に授業料改定が行われた場合には, 改定時から新授業料が適用されます。

入学料や新生活を始めるにあたって必要になる学資の一部を奨学金(40万円)として給付する「輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金」制度や, 入学料・授業料の免除及び徴収猶予の制度の詳細は, 本学ホームページの受験生特設サイト(<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>)をご覧ください。

10 学生寮への入寮について

学生寮の出願受付は, 入試区分(一般選抜, 学校推薦型選抜, 総合型選抜, 帰国生徒特別選抜, 社会人特別選抜, 私費外国人留学生特別選抜及び編入学試験)にかかわらず一斉に行います。学校推薦型選抜を受験し学生寮への入寮を希望する方は, ダウンロードした新潟大学受験票の写しを同封し, 下記により出願してください。

なお, 学生寮(新潟大学五十嵐キャンパス内)の概要は, 以下のとおりです。

寮名	収容人数	居室の状況, 寮費等の月額
六花寮男子棟 六花寮女子棟	各100人 (うち留学生各20人)	個室(12.46㎡), 居室費13,000円 光熱水料7,000円程度 各居室に冷暖房あり, 食事提供なし
五十嵐寮A棟(男子) 五十嵐寮B棟(女子)	各200人 (うち留学生各5人)	個室(9.45㎡), 居室費4,300円 光熱水料7,000円程度 自治会費年間2,000円 各居室に冷房なし暖房あり, 食事提供なし

(1) 募集要項の入手方法

- 本学ホームページ(<https://www.niigata-u.ac.jp/>)の「受験生の方」→「学生寮入寮者の募集について」に, 学生寮入寮者募集要項と出願様式を掲載しますので, ダウンロードしてください。
- 本学ホームページの掲載期間は, 令和3年12月15日(水)～令和4年2月22日(火)です。
- ダウンロード以外の方法を希望する場合は, 下記問合せ先にお問い合わせください。

(2) 出願条件

通学所要時間が90分以上の者(通学所要時間とは, 自宅から, 通常の通学方法と経路による片道の

通学時間をいいます。)

なお、入寮選考は家庭の経済状況（家計支持者等の収入）を基準として行います。

(3) 入寮願書の提出方法

封筒（標準角形2号（240mm×332mm））に入寮願書等を入れ、下記出願期間内に学務部学生支援課へ郵送してください。土曜日・日曜日・祝日以外は、持参受付（8時30分～17時15分）も行います。なお、出願期間は入試区分にかかわらず一律ですので、必ずこの期間内にしる願を済ませてください。

出願期間 令和4年2月1日(火)～令和4年2月22日(火)17時15分まで（必着）

宛 先 〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学学務部学生支援課学生係

※ 出願には新潟大学受験票の写しのほか、市区町村が発行する所得証明書なども必要となりますので、必要書類は早めに取りそろえてください。

(4) 募集人員

六 花 寮 … 男子・女子各約20人

五十嵐寮A棟 … 男子未定（「輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金」対象者含む。）

五十嵐寮B棟 … 女子未定（ 同上 ）

※「五十嵐寮（A棟・B棟）」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集人員は未定です。

(5) 問合せ先（平日のみ）

学務部学生支援課学生係 電話(025)262-6091

1 1 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

(1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び④これらに付随する業務を行うために利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。

(3) 各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託に当たり、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を受託業者へ提供します。

(4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、可否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ提供します。

(5) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、合格者のみ入学手続関係（入学科、授業料等）、教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）に関する業務を行うために利用します。

なお、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

1 2 受験者本人の試験成績の開示

試験成績の開示を希望される方は、インターネット出願登録時に申し込んでください。

請求方法等の詳細は、本学ホームページの「受験生特設サイト」（<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>）を確認してください。

1 3 最近における学校推薦型選抜実施状況

(1) 学校推薦型選抜Ⅰ型（大学入学共通テストを課さない）

学 部	学 科 等	平成31年度			令和 2 年度			令和 3 年度			
		募集人員	志願者	合格者	募集人員	志願者	合格者	募集人員	志願者	合格者	
法学部	法学科	50人	107人	51人	50人	110人	52人	50人	130人	54人	
経済学部	経済学科	20人	53人	20人							
	経営学科	商業に関する教科・科目を20単位以上修得した者	10人	19人	10人						
		上記以外の者	10人	14人	11人						
経済科学部	総合経済学科	範囲の指定なし				45人	86人	46人	45人	63人	47人
		商業に関する教科・科目を20単位以上修得した者				15人	28人	15人	15人	30人	16人
理学部 ※1	理 学 科	数学プログラム	7人	16人	9人	7人	36人	10人	7人	40人	12人
		物理学プログラム	7人	14人	11人	7人	22人	10人	7人	19人	9人
		化学プログラム	5人	12人	6人	5人	8人	6人			
		生物学プログラム	5人	10人	5人	5人	10人	6人			
		地質科学プログラム	5人	10人	6人	5人	6人	4人			
		自然環境科学プログラム	6人	14人	5人	6人	11人	6人			
医学部	保健学科	看護学専攻	20人	54人	20人	20人	73人	20人	28人	77人	28人
		放射線技術科学専攻	10人	32人	10人	10人	59人	10人	12人	53人	12人
		検査技術科学専攻	12人	40人	12人	12人	47人	12人	12人	42人	13人

※1 理学部の化学、生物学、地質科学、自然環境科学プログラムは、令和3年度入試より、学校推薦型選抜Ⅱ型（大学入学共通テストを課す）により実施しました。

学部	学科等		平成31年度			令和2年度			令和3年度			
			募集人員	志願者	合格者	募集人員	志願者	合格者	募集人員	志願者	合格者	
工学部	機械システム工学プログラム	推薦入試(A)	3人	5人	4人	/	/	/	/	/	/	
		推薦入試(C)	若干人	0人		/	/	/	/	/	/	
	社会基盤工学プログラム	推薦入試(A)	2人	2人	2人	/	/	/	/	/	/	
		推薦入試(C)	若干人	3人	0人	/	/	/	/	/	/	
	電子情報通信プログラム	推薦入試(A)	4人	6人	4人	/	/	/	/	/	/	
		推薦入試(C)	若干人	0人		/	/	/	/	/	/	
	知能情報システムプログラム	推薦入試(A)	3人	7人	3人	/	/	/	/	/	/	
		推薦入試(C)	若干人	1人	1人	/	/	/	/	/	/	
	化学システム工学プログラム	推薦入試(A)	2人	2人	2人	/	/	/	/	/	/	
		推薦入試(C)	若干人	0人		/	/	/	/	/	/	
	材料科学プログラム	推薦入試(A)	2人	1人	1人	/	/	/	/	/	/	
		推薦入試(C)	若干人	0人		/	/	/	/	/	/	
	建築学プログラム	推薦入試(A)	2人	5人	2人	/	/	/	/	/	/	
		推薦入試(C)	若干人	1人	0人	/	/	/	/	/	/	
	人間支援感性科学プログラム	推薦入試(A)	2人	3人	3人	/	/	/	/	/	/	
		推薦入試(C)	12人	14人	13人	/	/	/	/	/	/	
	協創経営プログラム	推薦入試(A)	2人	2人	1人	/	/	/	/	/	/	
		推薦入試(C)	若干人	1人	1人	/	/	/	/	/	/	
	工学科	機械システム工学プログラム	学校推薦型選抜I型	/	/	/	7人	4人	3人	7人	4人	2人
		社会基盤工学プログラム	学校推薦型選抜I型	/	/	/	4人	3人	1人	4人	2人	2人
電子情報通信プログラム		学校推薦型選抜I型	/	/	/	7人	9人	7人	7人	4人	2人	
知能情報システムプログラム		学校推薦型選抜I型	/	/	/	7人	6人	4人	7人	11人	7人	
化学システム工学プログラム		学校推薦型選抜I型	/	/	/	7人	6人	6人	7人	5人	5人	
材料科学プログラム		学校推薦型選抜I型	/	/	/	4人	1人	1人	4人	3人	3人	
建築学プログラム		学校推薦型選抜I型	/	/	/	3人	5人	3人	3人	5人	3人	
人間支援感性科学プログラム		学校推薦型選抜I型	/	/	/	14人	26人	17人	14人	21人	15人	
協創経営プログラム		学校推薦型選抜I型	/	/	/	2人	0人		2人	1人	1人	

学部	学科等		平成31年度			令和2年度			令和3年度			
			募集人員	志願者	合格者	募集人員	志願者	合格者	募集人員	志願者	合格者	
農学部	農	応用生命科学プログラム	普通科等	5人	15人	5人	5人	15人	5人	5人	13人	6人
		※2		2人	4人	2人	2人	4人	2人	2人	3人	1人
	学	食品科学プログラム	普通科等	4人	12人	4人	4人	23人	4人	4人	22人	4人
			※3		2人	4人	2人	2人	2人	2人	3人	2人
	科	生物資源科学プログラム	普通科等	6人	18人	7人	6人	18人	6人	6人	13人	6人
			※4		5人	14人	7人	5人	8人	5人	5人	10人
	流域環境学プログラム	普通科等	6人	8人	6人	6人	22人	7人	6人	4人	1人	
		※5		4人	5人	4人	4人	7人	5人	4人	12人	8人

※2 農業，工業，水産及び家庭に関する学科並びに総合学科

※3 農業，水産及び家庭に関する学科並びに総合学科

※4 農業に関する学科及び総合学科

※5 農業及び工業に関する学科並びに総合学科

(2) 学校推薦型選抜Ⅱ型（大学入学共通テストを課す）

学 部	学科・課程等		平成31年度			令和2年度			令和3年度		
			募集人員	志願者	合格者	募集人員	志願者	合格者	募集人員	志願者	合格者
人文学部	人文学科		30人	70人	30人	30人	79人	30人	30人	89人	30人
教育学部	学校教員養成課程		40人	90人	40人	40人	59人	36人	60人	84人	49人
理学部 ※6	理 学 科	化学プログラム	/	/	/	/	/	/	5人	15人	7人
		生物学プログラム	/	/	/	/	/	/	5人	10人	5人
		地質科学プログラム	/	/	/	/	/	/	5人	5人	4人
		自然環境科学プログラム	/	/	/	/	/	/	6人	4人	4人
歯学部	歯学科		10人	26人	9人	10人	20人	9人	8人	26人	8人
	口腔生命福祉学科		5人	7人	3人	5人	9人	4人	5人	9人	5人
工学部	工 学 科	機械システム工学プログラム 推薦入試(B)	15人	13人	12人	/	/	/	/	/	/
		社会基盤工学プログラム 推薦入試(B)	4人	9人	7人	/	/	/	/	/	/
		電子情報通信プログラム 推薦入試(B)	11人	17人	11人	/	/	/	/	/	/
		知能情報システムプログラム 推薦入試(B)	12人	18人	12人	/	/	/	/	/	/
		化学システム工学プログラム 推薦入試(B)	10人	5人	5人	/	/	/	/	/	/
		材料科学プログラム 推薦入試(B)	6人	7人	7人	/	/	/	/	/	/
		建築学プログラム 推薦入試(B)	3人	11人	3人	/	/	/	/	/	/
		人間支援感性科学プログラム 推薦入試(B)	5人	7人	6人	/	/	/	/	/	/
		協創経営プログラム 推薦入試(B)	10人	4人	1人	/	/	/	/	/	/

※6 理学部の化学，生物学，地質科学，自然環境科学プログラムは，令和3年度入試より，学校推薦型選抜Ⅱ型（大学入学共通テストを課す）により実施しました。

学 部	学科・課程等		平成31年度			令和 2 年度			令和 3 年度			
			募集人員	志願者	合格者	募集人員	志願者	合格者	募集人員	志願者	合格者	
工学部	工 学 科	機械システム 工学プログラム	学校推薦型 選抜Ⅱ型				15人	25人	21人	15人	22人	15人
		社会基盤工学 プログラム	学校推薦型 選抜Ⅱ型				4人	18人	8人	4人	4人	4人
		電子情報通信 プログラム	学校推薦型 選抜Ⅱ型				11人	9人	7人	11人	19人	11人
		知能情報シス テムプログラム	学校推薦型 選抜Ⅱ型				12人	28人	17人	12人	28人	12人
		化学システム 工学プログラム	学校推薦型 選抜Ⅱ型				10人	6人	6人	10人	11人	10人
		材料科学 プログラム	学校推薦型 選抜Ⅱ型				7人	7人	7人	7人	5人	5人
		建築学 プログラム	学校推薦型 選抜Ⅱ型				4人	22人	4人	4人	23人	4人
		人間支援感性 科学プログラム	学校推薦型 選抜Ⅱ型				5人	11人	8人	5人	7人	5人
		協創経営 プログラム	学校推薦型 選抜Ⅱ型				10人	8人	8人	10人	8人	8人

1 4 出願に必要な所定様式等

- (1) 調査書作成に関するお願い（経済科学部，工学部(学校推薦型選抜Ⅰ型(出願要件①))，農学部，歯学部(歯学科)用)
- (2) 自己申告書（法学部用）
- (3) 志願理由書（人文学部用）
志願理由書（教育学部用）
志願理由書（経済科学部，医学部(保健学科)用）
志願理由書（理学部(化学，生物学プログラム)用）
志願理由書（歯学部用）
- (4) 面接のための参考資料（理学部（数学，物理学，地質科学，自然環境科学プログラム）用）
- (5) 活動報告書（工学部 学校推薦型選抜Ⅰ型 出願要件②又は出願要件⑤による出願者用）
- (6) 大学入学共通テスト受験教科・科目自己確認表（学校推薦型選抜Ⅱ型用） 提出不要

備考：推薦書は、本学ホームページ > 受験生の方 > 受験生特設サイト > 学校推薦型選抜（<https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/faculty/recommendation/>）からダウンロードした所定様式により出身学校長が作成し，厳封したものを提出してください。

経済科学部，工学部(学校推薦型選抜Ⅰ型(出願要件①))，農学部又は歯学部(歯学科)を志願する者は，出身学校長に調査書の作成を依頼する際に，このページを印刷し，学校長に依頼してください。

学校長 殿

新潟大学

調査書作成に関するお願い

本学学校推薦型選抜では，出願書類を十分活用し，総合的に入学者選抜の判定を行っております。

つきましては，調査書の作成に関し，下記の点にご留意くださるようお願いいたします。

1. 経済科学部，工学部(学校推薦型選抜Ⅰ型(出願要件①))，農学部の志願者

- (1) 経済科学部を志願する者で，商業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者は，「8. 備考」欄に商業に関する教科・科目の修得単位数(見込みを含む。)を明記してください。
- (2) 工学部 学校推薦型選抜Ⅰ型 出願要件①による志願者
 - ① 機械システム工学プログラム，社会基盤工学プログラム，建築学プログラムの志願者においては，「8. 備考」欄に工業に関する教科・科目の修得単位数(見込みを含む。)を明記してください。
 - ② 電子情報通信プログラムの志願者においては，「8. 備考」欄に工業及び情報に関する教科・科目の修得単位数(見込みを含む。)を明記してください。
 - ③ 知能情報システムプログラム，人間支援感性科学プログラム，協創経営プログラムの志願者においては，「8. 備考」欄に工業，情報及び商業に関する教科・科目の修得単位数(見込みを含む。)を明記してください。
 - ④ 化学システム工学プログラム，材料科学プログラムの志願者においては，「8. 備考」欄に工業，農業及び水産に関する教科・科目の修得単位数(見込みを含む。)を明記してください。
- (3) 農学部の志願者
 - ① 総合学科卒業(見込み)者においては，「8. 備考」欄に農業，工業，水産又は食物のいずれかに関する教科・科目の修得単位数(見込みを含む。)を明記してください。
 - ② 家庭に関する学科卒業(見込み)者においては，「8. 備考」欄に食物に関する教科・科目の修得単位数(見込みを含む。)を明記してください。

記入例

8 ・ 備 考	商業に関する教科・科目修得単位数(見込みを含む。) 20単位
------------------	--------------------------------

2. 歯学部(歯学科)の志願者

学習成績概評Aに属する生徒のうち，人物，学力ともに特に優秀で，学校長が責任を持って推薦できる者については，「4. 学習成績概評」欄にⒶと標示してください。

自己申告書について

次の(1), (2)の両方について, それぞれの指示に従って文章を作成しなさい。

なお, (1)については, No. 1 と No. 2 の原稿用紙を, (2)については, No. 3 から No. 6 までの原稿用紙をそれぞれ使用すること (横書き)。

作成した自己申告書は, No. 1 が一番上にくるように, No. 1 から No. 6 までの順に重ね, 左上の斜線「 / 」に沿って, 1 か所をホッチキス止めして提出しなさい。

※ 本人自筆により, 黒ボールペンで記入すること。

(1)

あなたが対人関係において大事にしていることは何ですか。また, なぜそれを大事にしているのでしょうか。800 字程度で述べなさい。

(2)

近年, いわゆる「ベーシックインカム」制度の導入が世界的に議論されています。これは, 政府が無条件で全ての国民に, 生活に最低限必要な一定額を, 定期的に支給するものです。この制度の長所と短所について論じた上で, 導入の是非についてあなたの考えを 2,000 字程度で述べなさい。



氏名 _____

No. 1

100
200
300
400
500
600

氏名 _____

No. 3

100

200

300

400

500

600

新潟大学法学部の 学校推薦型選抜を受験しようとする 〈皆さん〉へ

2021年8月 新潟大学法学部

1 新潟大学法学部は、こんなところです

法学部に入って法律を勉強すると、どのような能力が身につく、どのような職業に就けるのでしょうか。少し想像してみても「医学部へ進学して卒業後医師になる」というように、法律の勉強と卒業後の進路とを結びつけられないかもしれません。どの大学の法学部でも、法学部卒業生の全員が弁護士や裁判官になるわけではないからです。

法学部は実社会で求められる進路の選択肢が非常に多く、自分にあった将来設計がしやすい学部です。なぜなら、あちらこちらで毎日のように起こっている様々な社会問題の解決には、バランスのとれた論理思考力を培う法学の素養が不可欠だからです。これを法的素養（リーガル・マインド）といいます。

このリーガル・マインドは様々な分野で生かされています。インターネットで調べてみてください。歴代の首相や大臣をはじめとする政治家、また中央官庁や地方自治体の幹部の出身学部で一番多いのは法学部だとわかるでしょう。銀行、商社、製造業などの分野でも、大手企業の幹部の出身学部で多いのはやはり法学部です。このように、法学部卒業生は社会の至る所で活躍しています。法学部は、皆さんが「なりたい自分になる」ための教育を提供する学部です。

10年後の自分を想像してみましよう。市役所の職員になっていれば、市民に公共サービスを提供していることでしょうか。会社員になっていれば、顧客に自社の商品を提供していることでしょうか。こうしたサービスや商品は単に提供すればいいというものではありません。きちんとした提供には公正なルールが必要不可欠です。そうした社会のルール（法律）を学ぶ場所が法学部です。様々な人々が日々を幸せに暮らせるように、公正なルールによって公平な社会を作るための智慧や工夫を学ぶのが法学部です。

だからこそ、法律を学ぶ際には、人間の行動に対する深い洞察と、社会のあり方に対する飽くなき関心とを持つことが求められます。法律を学んで、人間と社会との関わりを分析し、社会の良きあり方を考え、そのためのルール作りを学び、そのルールを社会に適用していく、これが法学部出身者に期待される役割であり、皆さんの将来の姿です。

新潟大学法学部は、こうした人材育成の基本理念から次のような人材を求めています。

- 論理的に思考し、自らの言葉で的確に表現し、交渉を進める能力を持つ人材
- 制度や現象を体系的に理解できる思考力を持つ人材
- 幅広い教養を背景に、人権感覚や国際感覚を身につけた深い洞察力や判断力を持つ人材

新潟大学法学部は、皆さん一人一人が、これらの能力や資質を身につけることで、「なりたい自分になる」のを支援します。

2 新潟大学法学部は、

(1) 現代社会に対応できるカリキュラムを提供しています

21世紀になって、ヒトやモノ、資金や情報はますます国境を越え、貿易や環境など様々な領域でこれまでとは量的にも質的にも異なった問題が生じています。国内でも、産業構造の変化に伴って特に社会的弱者が一層苦境に追い込まれ、東日本大震災から数年が過ぎても被災者の苦労が続いているという現実があります。また、新型コロナウイルスによる社会問題も様々なところで見られます。

私たちが直面しているこうした社会問題は、残念ながら、技術の進歩や財政の出動だけでは解決できるものではなく、公正なルールの策定とその執行が必要です。別の言い方をすれば、リーガル・マインドに根ざした公正なルールを用いて、人と技術や資金とをつないで問題を解決していくことが今まで以上に求められています。

新潟大学法学部は、このような変化の激しい現代社会の諸課題に対応した教育を行っています。大学は高校とは勉強の内容が質量ともに異なります。ですから、学生はまず「大学生らしく」なるためのトレーニングを受けます。そして少しずつ法学の基礎的な知識や考え方を学びます。その後、自分の将来の進路を考えて、必要な専門分野を学びます。そして社会人となるための準備教育の段階へと進み、卒業を迎えます。

もちろん、海外で学ぶことを希望する学生のために、イギリス、ドイツ、カナダ、フランス、中国、韓国など多くの留学先（学生交流協定校）を用意しています。学生交流協定にもとづく留学では、半年または1年間の留学をしても4年間で卒業することも可能です。

さらに、新潟大学法学部には、他大学の法学部にはない授業がいくつかあります。例えば、現在起こっている新しい問題を専門分野の異なる複数の教員が一同に会して討論するシンポジウム形式の講義です。学生はここで、様々な考え方や価値観が絡み合っている中でどうしたら公正なルールによって人々をつなぐことができるかを学びます。

新潟大学法学部は、こうしたプロセスを通じて、企業で人をつなぐ人材、国や地方自治体で人をつなぐ人材、国際的な事業で人をつなぐ人材の育成を目指しています。

2019年度からは「法曹コース」を設置し、法科大学院に進学し法曹を志す学生に対して一貫的・体系的な教育を提供する仕組みを設けました。法曹はもちろんのこと、社会の様々な場面でリーガル・マインドを駆使して社会問題の解決のために努力できる人材の育成を目指しています。

皆さんは、将来どのような姿をイメージしていますか。そしてどのような場面でどのような能力を発揮して活躍したいと考えていますか。

(2) 「現場」を重視します

大学の教室に閉じこもって教科書を読んでいるだけでは生きた社会は理解できません。常に現実の社会と教室で学んだ内容とを結びつけて考えてみることで、つまり「見てみよう。触

法学部紹介

提出不要

ってみよう。そして現場で考えてみよう。」の精神が大切だと考え、新潟大学法学部は、職場等（＝現場）での体験をカリキュラムの重点項目に位置づけ、学生を地域社会にどんどん送り出しています。これを「現場主義」と呼んでいます。

「現場主義」教育の例が、国立大学法学部で最初に始めたインターンシップのプログラムです。始めてからまもなく20年になります。これは、中央省庁や地方自治体、銀行、新聞社やテレビ局、弁護士や司法書士の事務所などで、学生が現場の業務を体験するものです。どんな現場なのかは、下の「インターンシップ派遣先一覧」を見て下さい。

この他にも、現場の方を大学に招く授業があります。そうした「現場主義」授業の例として、各界で活躍されている人たちの話を聴く「賢人会議」や新潟市で市民のために働いている人たちの活動を学ぶ「新潟市の行政」などの講義があります。

○インターンシップ派遣先一覧（2019年度）

	派遣先名
官公庁	新潟県，秋田県，福島県，群馬県，栃木県，新潟市，長岡市，上越市，新潟労働局，新潟財務事務所，等
金融・保険	野村證券，損害保険ジャパン
法務関係	新潟青山法律事務所，新潟合同法律事務所

※ 2020年度については、新型コロナウイルスの感染拡大により実施していません。

3 卒業生の進路は、多様です

弁護士などを目指してロースクール（法科大学院）に進学する学生，法律系専門職（司法書士，行政書士，税理士，社会保険労務士，不動産鑑定士など）を目指す学生，研究者を目指して大学院に進学する学生はいますが，この数年の統計では全体の1割前後です。多くの学生は，公務員（国家公務員，地方公務員など）や，各分野の企業・団体に就職しています。冒頭で述べたように，法律が必要なのは法律家だけではありません。国や地方自治体，民間企業や各種団体が，リーガル・マインドに基づいて公正なルールを策定・適用し，様々な社会問題を解決できる人材を求めているからです。

割合(2020年度)	主な進路(2018年度～2020年度)	
公務員(45.5%)	人事院，法務省，国土交通省，経済産業省，農林水産省，消費者庁，法務局，裁判所事務官，国税専門官，労働基準監督官，警視庁，新潟県，北海道，秋田県，岩手県，福島県，栃木県，群馬県，長野県，香川県，札幌市，新潟市，さいたま市，等	
企業等(49%)	建設業	福田組，第一建設工業，関電工，等
	製造業等	新潟造船，SUBARU，タカヨシ，トッパングラフィックコミュニケーションズ，ホーチキ，コロナ，東京電設サービス，等
	情報・通信	日本経済新聞社，新潟日報社，岩手日報社，上越ケーブルビジョン，LINE，東日本放送，シアンス，等

	運輸等	JR 東日本, 全日本空輸, ANA ウイングス, ジェットスター・ジャパン, フジドリームエアラインズ, 中越運送, ヤマト運輸, 等
	卸売・小売	クスリのアオキ, ウオロク, セコマ, ヤマダ電機, ベイシア, アークランドサカモト, メガネスーパー, 等
	金融・保険	第四北越フィナンシャルグループ, 大光銀行, 群馬銀行, 日本生命保険, 第一生命保険, 野村証券, 秋田銀行, 日本貿易保険, 新潟縣信用組合, 日本年金機構, 東京海上日動火災保険, 岡三にいがた証券, 等
	他	日本司法支援センター, 法律事務所, 税理士法人, 新潟市社会福祉協議会, 防災科学技術研究所, 新潟大学, アクセンチュア, レバレジーズ, 楽天, 等
進学等 (5.5%)		法科大学院 (東北大学, 早稲田大学, 千葉大学, 大阪大学) 新潟大学大学院現代社会文化研究科, 北海道大学大学院法学研究科, 東北大学公共政策大学院, 九州大学大学院法学府, 等

4 新潟大学法学部は、こんな学生を求めます

新潟大学法学部が受験生の皆さんに求めるものは、何よりも「意欲」です。変わりゆく社会で人々の幸福に役立ちたいという「意欲」です。

そして、その「意欲」を現実に生かすためには、現代社会のさまざまな問題を論理的に解明する能力、価値観が対立する中で公正なルールを作る能力、そのルールを適用して問題を公平に解決する能力、日本語・外国語や情報技術を用いて様々な人と意思疎通を図る能力、目先の利益にとらわれず、高い見地から問題を総合的に把握する能力が必要です。

新潟大学法学部は、このような能力を習得し、その能力をより良き社会の建設に役立てたいと願う「意欲」ある学生を心から歓迎します。そして、何よりも新潟大学法学部で学ぶことで、皆さんの中にある潜在能力を開花させてほしいと願っています。

志 願 理 由 書

あなたが、人文学部の学校推薦型選抜を志望された理由は何ですか。特に、大学でどのようなことを勉強したいか、どのようなことに興味があるかなどについて、これまでの勉学・学習生活をふりかえりながら具体的に述べてください。またその他に強調したいことがあれば、あわせて記してください。

(注) 1. 本人自筆により、黒ボールペンで記入してください。

2. 志願理由は、A3判両面（短辺とじ）で印刷し、2ページ、3ページが内側になるように谷折りにしてください。

学 校 名

志願者氏名

(自 署)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

志 願 理 由 書

フリガナ 氏 名	平成 年 月 日生	性 別	コース・専修	コース
		男 ・ 女		専修

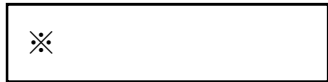
- (注) 1. 本人自筆により、黒ボールペンで記入してください。
2. ※印欄は記入しないでください。
3. 教育学部教科教育コース音楽教育専修を志願する者は、本要項 17 ページの「(1)募集人員」の「※出願する際の注意点(注2)」に記載されている条件を満たす旨を記述してください。
4. 新型コロナウイルス感染症対策の影響により、各種のスポーツ・文化活動の行事、大会や資格・検定試験等が中止・延期等となり、結果を記載できない場合は、それに向けた努力のプロセス等を記載してください。

※

志 願 理 由 書

フリガナ 氏 名	平成 年 月 日生	性 別
		男 ・ 女
This area contains horizontal dashed lines for writing		

- (注) 1. 本人自筆により, 黒ボールペンで記入してください。
2. ※印欄は記入しないでください。



志願理由書

以下の項目に簡単に答えてください。

黒色のボールペンを用いて、志願者が自筆してください。

学 校 名

志願者氏名

志望する主専攻プログラムを1つ選び、○で囲んでください。

化学プログラム

生物学プログラム

1. 当該主専攻プログラムを志望した理由

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

面接のための参考資料

(志願者が自筆してください。)

面接時の参考にしますので以下の項目に簡単に答えてください。

学 校 名

志願者氏名

1. 希望する主専攻プログラム ・数学プログラム ・物理学プログラム ・地質科学プログラム
・自然環境科学プログラム

(いずれかを○で囲んでください。)

2. 1の主専攻プログラムを志望した理由

.....

.....

.....

3. 大学でやりたいこと・将来の夢など

.....

.....

.....

4. 授業以外で興味を持って取り組んだこと

.....

.....

.....

5. 自分の長所やアピールポイント

.....

.....

.....

(注) 1. 黒ボールペン等で記入してください。

2. ※印欄は記入しないでください。

※

活動報告書

[工学部 学校推薦型選抜 I 型 出願要件②又は出願要件⑤による出願者用]

令和 年 月 日

新潟大学工学部長 殿

志願者氏名 _____

記載事項確認者 学校名 _____

学校長 _____

印

【活動実績】

名 称 _____

活動の時期 _____

概要の説明

[学校推薦型選抜 I 型の出願要件②又は出願要件⑤に該当する主要な活動の経歴，成果等を志願者が記載してください。(鉛筆書きは不可)]

※印欄は記入しないでください。

提出不要

大学入学共通テスト 教科・科目		国語		地理歴史		公民			数学①		数学②			理科						外国語				受験を要する教科・科目数					
		国語	世界史 B	日本史 B	地理 B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学 I	数学 I・数学 A	数学 II	数学 II・数学 B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
学部学科(課程)等																													
工学部 工学科	機械システム工学, 社会基盤工学, 電子情報通信, 化学システム工学, 材料科学プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3教科3科目
	知能情報システム, 人間支援感性科学 プログラム																												3教科3科目
	建築学, 協創経営プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3教科3科目

(注) 大学入学共通テストの「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の専門教育等を主とする学科等において、専門教育に関する当該科目の履修者に限ります。

- は、受験することを課していない教科・科目を示します。